

災害時のための連絡MEMO



集合場所

災害別	一時避難場所	避難先(第1候補)	避難先(第2候補)
地震・津波			
河川の氾濫			



家族等の連絡先

ご家族などで話し合ってお互いの連絡先を記入してください。

名前	血液型	会社・学校	電話番号

大きな地震など災害時には、電話回線が混み合いつながりにくくなります。各電話会社が提供する「災害用伝言ダイヤルサービス」や「災害用伝言板サービス」を安否確認にご利用してください。



伝言の登録方法

電話

171にダイヤル
↓
「1」をダイヤル
↓
市外局番+電話番号※
↓
伝言を録音

Web

web171.jpにアクセス
↓
電話番号を入力※
↓
登録ボタン
↓
名前/安否/伝言を登録



伝言の確認方法

電話

171にダイヤル
↓
「2」をダイヤル
↓
市外局番+電話番号※
↓
伝言を再生

Web

web171.jpにアクセス
↓
電話番号を入力※
↓
確認ボタン
↓
伝言内容を確認

※電話番号は被災地の方の市外局番からの電話番号、または携帯電話番号

伝言ダイヤル・伝言板 体験利用提供日 毎月1日・15日 / 1月1日～3日 / 1月15日～21日(防災とボランティア週間) / 8月30日～9月5日(防災週間)

緊急連絡先(災害・事故等)

機関名	住所	電話番号
宇多津町役場	宇多津町1881番地	0877-49-0511
坂出警察署	坂出市江尻町1204番地1	110
坂出警察署宇多津交番	宇多津町浜五番丁215番地2	0877-49-0858
坂出市消防本部(坂出消防署)	坂出市久米町1丁目17-23	119
坂出海上保安署	坂出市入船町1丁目6-10	118

お問い合わせ

発行
宇多津町

宇多津町役場 危機管理課
香川県綾歌郡宇多津町 1881

TEL:0877-49-8027
http://town.utazu.kagawa.jp/

このハザードマップは、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報及び地名情報)を使用した。測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R2JHs 697



宇多津町

総合防災ハザードマップ

保存版

目の届く場所に
保管してください。



このハザードマップは、身近な地域の災害リスクについて具体的に理解を深め、災害ごとの避難行動を確認し、実際の災害をイメージしながら、自らに適した避難行動やそのタイミングについて考えていただくために作成しました。いざという時のために、日ごろからご家族、ご近所や自主防災組織の方々と身の回りの危険箇所や避難場所、避難経路などについて話し合い確認しておきましょう。

step1

災害ごとの
危険を知る

step2

防災行動
を確認

step3

自分の行動
を考える

早めの
避難行動

目次

● このハザードマップの使い方 P.1～P.2

【風水害編】

- 警戒レベルと避難行動 P.3～P.6
- 風水害について知る P.7
- 土砂災害について知る P.8
- 高潮について知る P.9
- ため池決壊について知る P.10

【地震・津波編】

- 地震が起きたら P.11
- 地震に備える P.12
- 地震・津波について知る P.13～P.16

● 洪水ハザードマップ P.17～P.36

● 高潮ハザードマップ P.37～P.48

● ため池ハザードマップ P.49～P.52

● 津波ハザードマップ P.53～P.64

● 避難施設・公共施設等 P.65～P.66

宇多津町
令和3年6月発行

風水害編

地震津波編

洪水ハザードマップ

高潮ハザードマップ

ため池ハザードマップ

津波ハザードマップ

避難所等

このハザードマップの使い方

STEP1

知る

ハザードマップを見て、ご自宅の災害リスクをチェック！

ハザードマップの種類		浸水深				家屋倒壊等氾濫想定区域	
		～0.5m	0.5～1.0m	1.0～3.0m	3.0～5.0m	河岸浸食	氾濫流
洪水	大東川(想定最大規模)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	土器川(想定最大規模)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	綾川(想定最大規模)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
土砂	土砂災害警戒区域	土砂災害(特別)警戒区域内					
		(急傾斜地) ☐		特別警戒区域 警戒区域	(土石流) ☐		特別警戒区域 警戒区域
高潮	(想定最大規模)	～0.5m ☐	0.5～1.0m ☐	1.0～3.0m ☐	3.0～5.0m ☐	5.0m以上 ☐	
津波	(南海トラフ最大クラス)	～0.5m ☐	0.5～1.0m ☐	1.0～1.5m ☐	1.5～2.0m ☐	2.0～3.0m ☐	

STEP2

確認

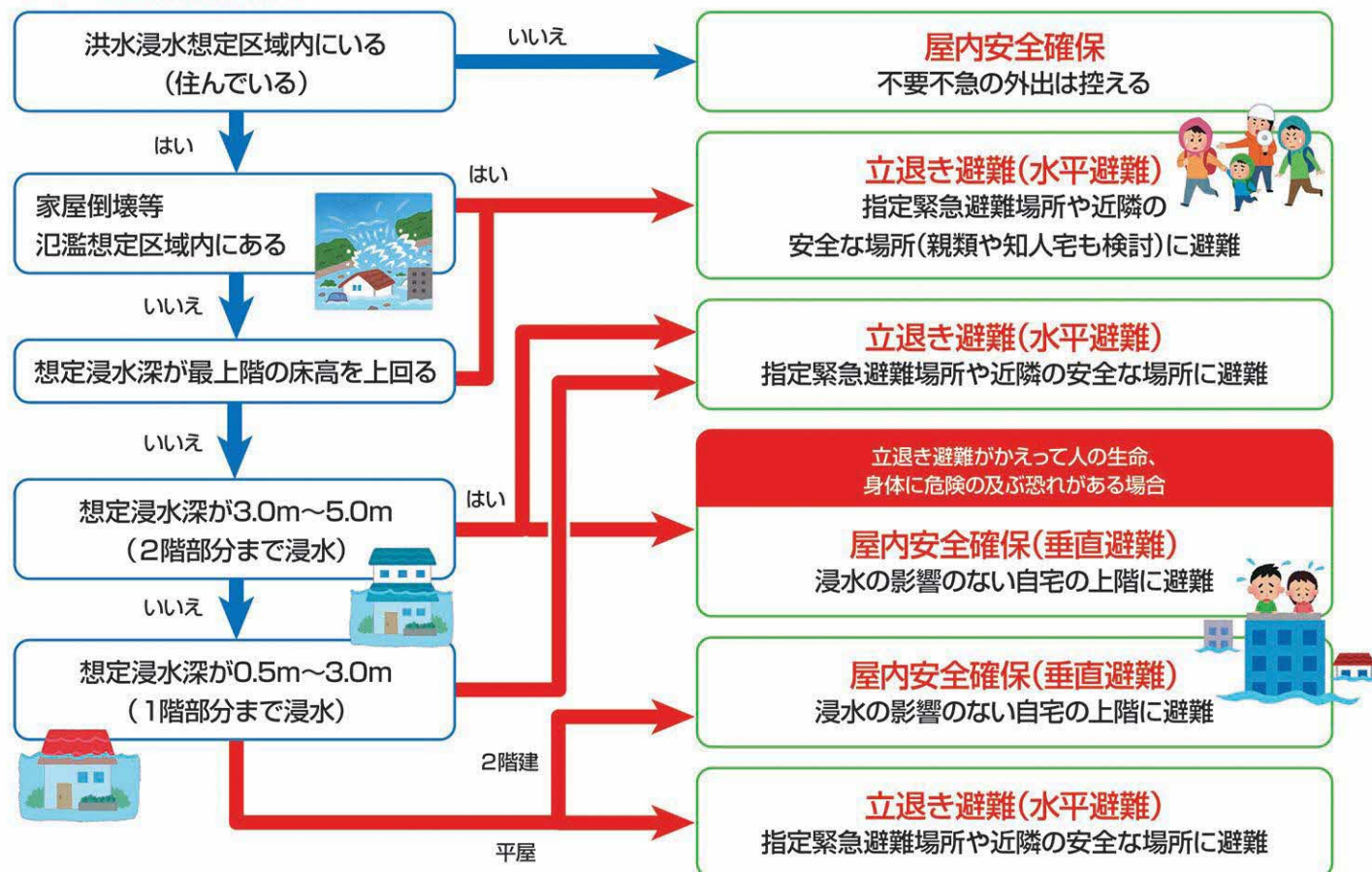
災害時の防災行動を確認しましょう。

下のフローチャートや、ハザードマップの情報ページなどを参考にして、災害時の防災行動を確認してみましょう。

地震の時の防災行動はP.11へ！

ため池決壊の時の防災行動はP.10へ！

マイ・避難場所判定



STEP3

考える

マイ・タイムラインに具体的な行動を書き込みましょう(洪水編)

突然起こる地震とは違い、台風などの風水害は時々刻々と進行する進行型の災害です。安全に避難するためにどのような順序で防災行動を行うべきかを、避難指示等の行政が発信する情報のタイミングに合わせて考えてみましょう。

記入例を参考に自分の行動(マイ・タイムライン)を考えましょう

作成年月日 年 月 日

	記入例
3日前	黒: 気象・防災情報 青: 国・県 緑: 町 ○台風予報 台風に関する気象情報(随時) 警戒レベル1 大雨注意報・洪水注意報 警戒レベル2 ○台風に関する今後の見通し 水防団待機水位到達 氾濫注意水位到達 洪水予報発表(氾濫注意情報) ◇暴風警報 ◇大雨警報・洪水警報 ○避難所の開設
-5h	避難判断水位到達 警戒レベル3相当 洪水予報発表(氾濫警戒情報) 高齢者等避難を発令 ◇土砂災害警戒情報 氾濫危険水位到達 警戒レベル4相当 洪水予報発表(氾濫危険情報) 緊急速報メール(氾濫のおそれがある情報) 避難指示を発令 ◇大雨特別警報 氾濫が発生 警戒レベル5相当 洪水予報(氾濫発生情報) 緊急速報メール(氾濫が発生した情報) 緊急安全確保(可能な範囲で発令)
-3h	
-0h	

雨風が強くなる前に行うべき事項をすませておく時期

水位等の状況を把握しつつ避難に要する時間に応じて避難行動を開始する時期

身の安全を確保すべき時期

記入例

○台風の今後を調べ始める

○1週間分の薬を病院に受け取りに行く

○家の周りに風ではさられるようなものはないか確認

○テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意

○避難する時に持って行くものを準備する

○家族と連絡を取りあう

○住んでいるところと上流の雨量を調べ始める

○携帯電話の充電

○ハザードマップで避難場所、避難手段を再確認

○川の水位を調べ始める

○高齢者等避難に時間がかかる方は避難を始める。

○その他の人は避難できるよう準備する

○携帯メール等で避難勧告、避難指示を受診

○安全なところへ移動を始める

○命を守る最前の行動をとる

！警戒レベルと避難行動（自分の命は自らが守る）

町より高齢者等避難（警戒レベル3）や避難指示（警戒レベル4）等が発令された際には、危険な場所から速やかに避難してください。また、気象庁より警戒レベル3、警戒レベル4に相当する防災気象情報が発表された際には、避難指示等が発令されていなくても危険度分布を用いて自ら避難の判断をしてください。

警戒レベルと防災気象情報

警戒レベル	状況	住民が取るべき行動	町からの避難情報	気象庁等の情報
5	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！ （命を守るための最善の行動をとる）	緊急安全確保 ※可能な範囲で発令 ・大雨特別警報発表時は、避難指示等の対象範囲を再度確認	大雨特別警報 氾濫発生情報
~~~~~《警戒レベル4までに必ず避難を！》~~~~~				
4	災害のおそれ 高い	危険な場所から全員避難 ・危険な区域の外の少しでも安全な場所に速やかに避難 ・危険度分布の「極めて危険」（濃い紫）出現時には、道路冠水や道路崩壊により、すでに避難が困難となっているおそれがあり、この状況になる前に避難を完了しておく	避難指示	土砂災害警戒情報 *2 高潮警報 高潮特別警報 極めて危険 非常に危険 警戒（警報級） 注意（注意報級） 氾濫危険情報 氾濫警戒情報 氾濫注意情報
3	災害のおそれ あり	危険な場所から高齢者等は速やかに避難 土砂災害警戒区域等や急激な水位上昇のおそれがある河川沿いにお住まいの方は、避難準備が整い次第、避難開始	高齢者等避難	大雨警報 洪水警報 *1 高潮警報に切り替える可能性が高い注意報 注意 氾濫警戒情報
2	気象状況 悪化	防災マップで避難行動を確認		大雨警報に切り替える可能性が高い注意報 大雨注意報 洪水注意報 高潮注意報 注意 氾濫注意情報
1	今後気象状況 悪化のおそれ	災害への心構えを高める		早期注意情報（警報級の可能性）

*1 夜間～翌日早朝に大雨警報（土砂災害）に切り替える可能性が高い注意報は、高齢者等避難（警戒レベル3）に相当します。

*2 暴風警報が発表されている際の高潮警報に切り替える可能性が高い注意報は、避難指示（警戒レベル4）に相当します。

## 町が発令される避難情報

避難とは「難」を「避」けること、つまり安全を確保することです。  
安全な場所にいる人は、避難する必要はありません。

高齢者等避難 （警戒レベル3）	避難指示 （警戒レベル4）	緊急安全確保 （警戒レベル5）
高齢者等避難が発令された際には、高齢者や障がい者等の避難に時間のかかる方やその支援者は危険な場所から避難を開始する。 その他の人は避難の準備を整えとともに、今後の防災気象情報、水位情報等に注意を払い、自発的に危険な場所から避難を開始することが望ましい。	避難指示が発令された際には、山ぎわや河川のそばなど危険な場所からできるだけ離れ、開設された指定緊急避難場所・指定避難所や、安全な親戚や知人宅などの安全な場所へ速やかに避難する必要があります。	既に災害が発生している状況であり、高台へ逃げたり、垂直（階上）避難をするなど、命を守る最善の行動をとる。 なお、緊急安全確保は、災害が発生していることを、町が把握した場合に可能な範囲で発令するものであり、必ず発令されるものではありません。

## 平時（日ごろの備え）

### ▶ 避難経路の確認

ハザードマップでお住まいの地域などの災害リスクを確認しましょう。  
避難先は町が開設する避難所だけでなく安全な親戚や知人宅への避難も日ごろから相談しておきましょう。



### ▶ 家の周りを点検・整備

雨水の排水溝などは水がたまらないように清掃をこまめにしましょう。



### ▶ 防災訓練に参加しましょう

もし今、災害が発生したら…。いざという時、より冷静に行動できるように、防災訓練などに積極的に参加しましょう。



### ▶ 非常持ち出し品を準備しておきましょう

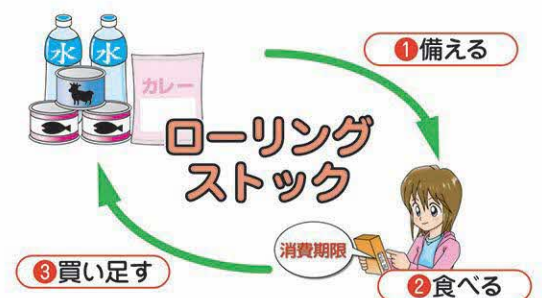
避難所の備品には限りがありますので、自らが十分な準備をすると安心です。両手の空くりュックサックに非常持ち出し品を準備しておきましょう。重さの目安は、男性 15kg、女性 10kg です。

### ■ 非常持ち出し品リスト

食料品など	衣類など	貴重品	日用品・安全対策・その他
<input type="checkbox"/> 飲料水 <input type="checkbox"/> 非常食	<input type="checkbox"/> 下着・上着 <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> 歯みがきセット	<input type="checkbox"/> 貯金通帳 <input type="checkbox"/> 印鑑 <input type="checkbox"/> 現金	<input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ <input type="checkbox"/> 予備電池 <input type="checkbox"/> 携帯電話 <input type="checkbox"/> ティッシュ <input type="checkbox"/> 充電器 <input type="checkbox"/> 常備薬 <input type="checkbox"/> 食品用ラップ

### ▶ 家庭での備蓄品

各家庭で最低3日間、できれば1週間過ごせるよう、飲料水（1人1日3リットル）、食料等を備蓄しておきましょう。保存期間の長い普段の食料を多めに買って置き、期限の近いものから消費、使った分を買い足す「ローリング・ストック方式」も効果的です。また、カセットコンロや下着、トイレトーパー、携帯トイレ等も備蓄していると、いざというときに役に立ちます。



### 家庭備蓄の例（1週間分 / 大人2人の場合）

必需品	主食 エネルギー 炭水化物	主菜 たんぱく質	副菜・その他
水 2L×6本×4箱 ※1人1日およそ3L程度 （飲料水＋調理用水） カセットコンロ・ カセットボンベ×12本 ※1人1週間およそ6本程度	米 2kg×2袋 ※1袋消費したら1袋買い足す（1人1食75g程度） 乾麺（うどん・そば・そうめん・パスタ） ・そうめん2袋（300g/袋） ・パスタ2袋（600g/袋） カップ麺類×6袋 バックご飯×6袋 その他（適宜） ・ロングライフ牛乳 ・シリアルなど	レトルト食品 ・牛丼の素、カレー等18個 ・パスタソース6個 缶詰（肉・魚） ・お好みのもの18個	日持ちする野菜類 ・たまねぎ、じゃがいも等 調味料 ・お好みのもの 梅干、のり、乾燥わかめ等 野菜ジュース、果物缶詰等 即席スープ等

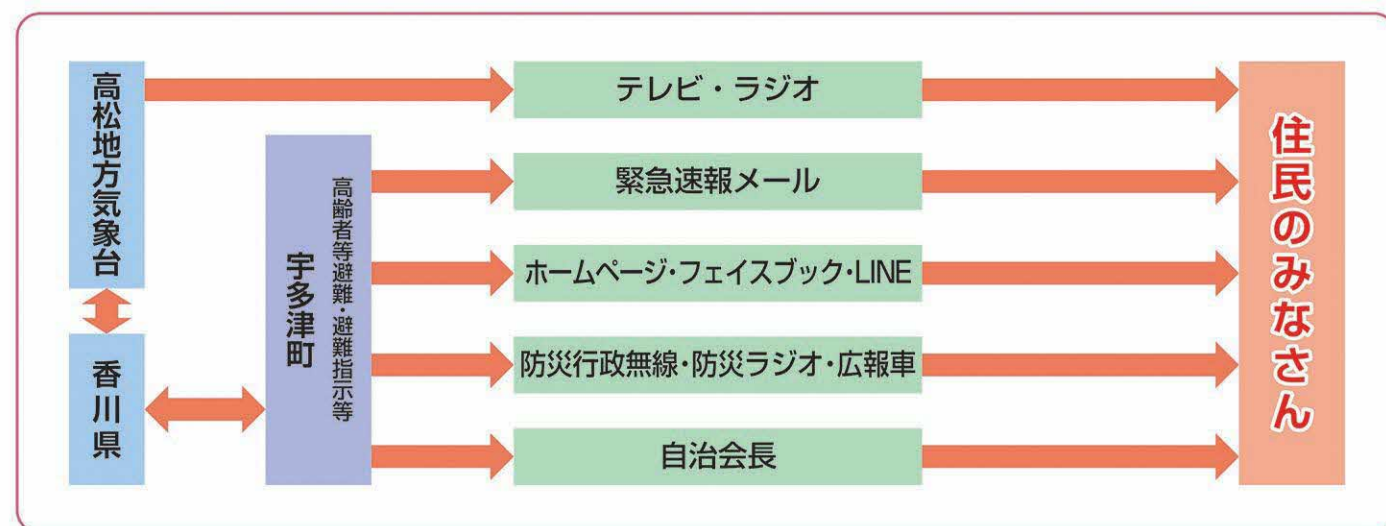


## 警戒レベル1・警戒レベル2 防災気象情報に注意

台風や集中豪雨の場合は、地震などとは違い毎年同じ時期に同じような現象を繰り返します。TV、データ放送、ラジオ、インターネットなどで最新の気象情報をこまめにチェックし、避難の必要がある場合は速やかに避難しましょう。

### ▶ 伝達経路

避難指示等の避難情報は、様々な方法で住民の皆様に発信されています。



### ▶ ホームページ等による情報の入手

情報を収集して危険だと感じた時には、避難指示などが発令されていなくても自主的に避難して下さい。

#### ■ 香川県 防災ナビアプリ

[https://www.pref.kagawa.lg.jp/content/dir2/dir2_2/dir2_2_1/wcj0cp200403105310.shtml](https://www.pref.kagawa.lg.jp/content/dir2/dir2_2/dir2_2_1/wcj0cp200403105310.shtml)



Android



iOS

#### ■ かがわ防災Webポータル

##### 【情報内容】

香川県の雨量・水位・土砂災害・防災情報など

<https://www.bousai-kagawa.jp/>

かがわ防災Web



#### ■ 宇多津町ホームページ

<https://www.town.utazu.lg.jp/>



宇多津町役場

#### ■ 宇多津町防災行政無線

防災行政無線の放送内容は、防災無線放送履歴  
テレフォンサービス

**(49-7337)**

でいつでも確認いただけます。

#### ■ 気象庁

##### 【情報内容】

全国の気象や災害・洪水予報に関する情報など

<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>

気象庁



#### ■ 国土交通省 「川の防災情報」

##### 【情報内容】

川の水位情報や河川カメラなど

<https://www.river.go.jp/portal/#88>

川の防災情報



## 警戒レベル3 「高齢者等避難」が発令された地域で、危険な場所にいる高齢者等、避難に時間のかかる方と、その支援者は避難を開始

### ▶ 高齢者等の避難に協力

お年寄りや小さなお子さん、身体の不自由な方が、早めに避難できるよう、近所のみなさんは避難に協力しましょう。

特に、一人暮らしのお年寄りや病気の人たちには、ふだんから気配りが必要です。

### ▶ その他の人は避難の準備！



## 警戒レベル4 「避難指示」が発令された危険な場所にいる人などは全員避難

避難所に移動することによりかえって命に危険を及ぼしかねない場合は、近隣のより安全な場所に避難してください。また、外出する危険な場合には屋内で安全を確保してください。

### ▶ 複数で避難・隣近所に声をかけましょう！

一人で避難すると、事故にあったとき非常に危険です。複数で避難し、隣近所に声をかけていきましょう。



### ▶ 危険な場所は避けて避難しましょう！

ガード下や、がけ地、堤防などを通るのは危険です。近道であっても避けましょう。橋を渡ることは避けて避難しましょう。



### 履物に注意しましょう！

運動靴が最適です。長靴は浸水が深いと中に水がたまるので動きにくくなります。

### マンホールに注意しましょう！

大雨によりマンホールのふたが外れることがあります。杖や棒などで足元を確認しながら避難しましょう。

### 車での避難は控えましょう！

車は約30cmの浸水で走行困難になります。車での避難は避けましょう。

### 歩ける深さに注意しましょう！

浸水時に歩ける深さは、ひざの高さ程度までです。水かさか腰までであると疲労しやすく、流速がある場合は20cm位の水かさでも危険です。高い場所で救援を待ちましょう。

## 警戒レベル5 命を守る最善の行動をとる ※町からの緊急安全確保は、災害が確認された場合に発令されます。

既に災害が発生している状況であり、命を守る最善の行動をとりましょう。

### topic ～走行中に自動車が水没したらどうなる？～

令和元年の台風19号(東日本台風)では、自動車での避難中に車両が水没する等により、運転者や同乗者が亡くなる事故が相次ぎました。

自動車は、エンジンやモーターで駆動し、電気装置により制御されているため、水深が車両の床面を越えて車内へ浸水すると、様々な不具合が発生するおそれがあり、最悪の場合、エンジンやモーターが停止して移動できなくなります。また、水深がドアの下端にかかると、車外の水圧により内側からドアを開けることが困難となり、ドア高さの半分以上を超えると、内側からほぼ開けられなくなります。

水深が床面を超えると、電気装置が破損し、自動スライドドアやパワーウィンドウが作動しなくなるおそれがあります。

吸気口から浸水するとエンジンが停止し、再起動しなくなるおそれがあります(速度が大きいと浸水しやすくなる)。

脱出用ハンマーで割れる(合わせガラスは割れない)。

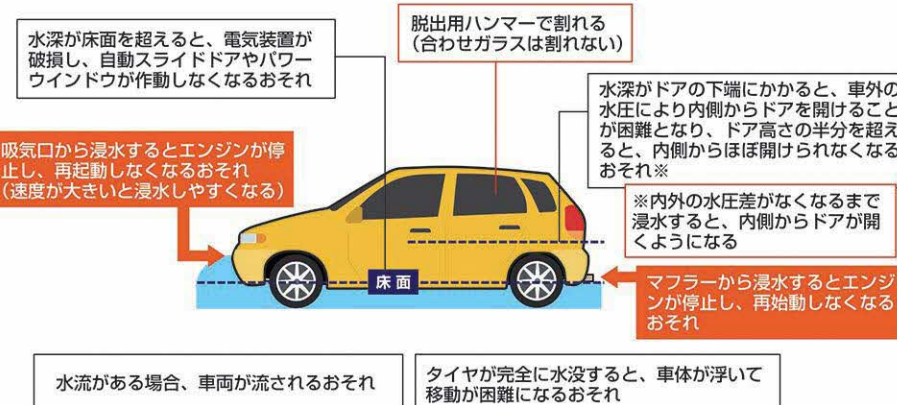
水深がドアの下端にかかると、車外の水圧により内側からドアを開けることが困難となり、ドア高さの半分以上を超えると、内側からほぼ開けられなくなるおそれがあります。

※内外の水圧差がなくなるまで浸水すると、内側からドアが開くようになります。

マフラーから浸水するとエンジンが停止し、再起動しなくなるおそれがあります。

水流がある場合、車両が流されるおそれがあります。

タイヤが完全に水没すると、車体が浮いて移動が困難になるおそれがあります。



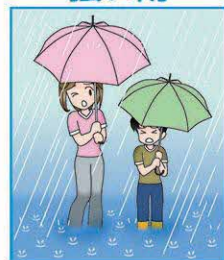


# 風水害について知る

水害とは、大雨や台風などの多量の降雨によって引き起こされる災害です。日本では、毎年、梅雨期の大雨や台風などにより、平年の1ヶ月の雨量を超えるような雨が短時間で降ったり、台風により激しい雨をもたらすと河川の急激な増水により河川の氾濫や山崩れなどの社会生活に大きな影響を及ぼす災害が発生しています。

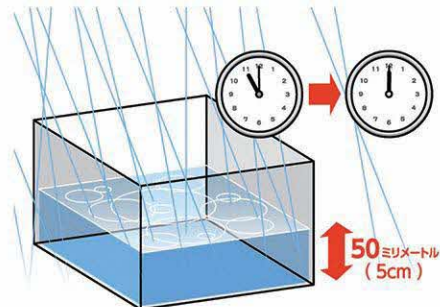
## 雨の強さと降り方(1時間雨量)

※ゲリラ豪雨等により20mm～30mmの雨でも市街地では冠水する場合があります。

<b>10～20mm</b> やや強い雨   地面一面に水たまりができ、話声が聞き取りにくくなります。長雨になりそうなら警戒が必要です。	<b>20～30mm</b> 強い雨   土砂降りの雨。傘をさしても濡れてしまうほどの雨です。小河川の氾濫や、崖崩れの心配もあります。	<b>30～50mm</b> 激しい雨   バケツをひっくり返したような激しい雨。山崩れ、崖崩れが起こりやすくなります。道路規制も行われます。避難の準備を。	<b>50～80mm</b> 非常に激しい雨   滝のように降り、あたりが水しぶきで白っぽくなります。中小の河川は氾濫し、水害発生の可能性が高まります。	<b>80mm以上</b> 猛烈な雨   息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じます。雨による大規模な災害が発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要です。
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 1時間に50mmの雨とは

テレビの気象情報などを見ていると「1時間に〇〇ミリの大雨が…」と説明しているのを良く聞きますが、実際にイメージしにくいと思います。では1時間50ミリの雨とはどの程度の雨なのでしょう。



「1時間に50ミリの雨」というのは雨水が別の場所に流れず、そのままたまる状態で、「1時間に雨水が50mmの高さまでたまる」規模の雨です。



傘を開いたときの面積が概ね1平方メートルで、1時間傘を差していると、傘には牛乳パック50本分の雨があたることになります。



まわりの雨水があつまと…

## 内水氾濫と外水氾濫

降った雨を排水処理できず、建物や土地・道路が水に浸かってしまうことを内水氾濫といいます。外水氾濫と比べて、浸水規模は小さいですが、いたるところで発生しやすい特徴があります。

外水氾濫は、河川の堤防から水が溢れ又は破堤して、家屋や田畑が浸水することをいいます。外水氾濫が発生すると広い範囲が浸水して、大被害が発生する恐れがあるので特に注意が必要です。



大雨が降ると川の水位が上がり、排水されにくくなり、下水道などがあふれてしまいます。



崩れた場所は一気に拡がり、勢いよく水が流れ出し、家などに襲い掛かります。

# 土砂災害について知る

## 土砂災害の種類

土砂災害には、「がけ崩れ」、「土石流」、「地すべり」の3種類があります。甚大な被害を引き起こす土砂災害に対処するには、それぞれの特性と発生兆候を知ることが重要です。

### がけ崩れ

大雨などをきっかけに、地面にしみ込んだ雨水により急な斜面の土砂が崩れ落ちることを「がけ崩れ」といいます。斜面の崩壊は突然起こりスピードも速いため、人家の近くでがけ崩れが起きると、逃げ遅れる人も多く、人的被害の出やすい災害です。



### 前兆現象



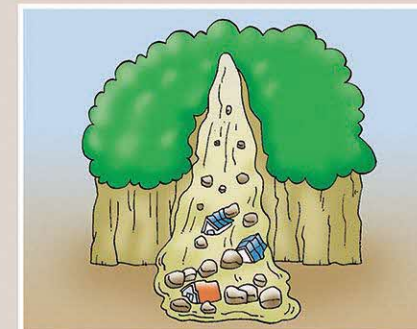
斜面(がけ)から小石がバラバラと落ちてくる



斜面(がけ)から急に水がわき出したり、わき水が濁る

### 土石流

大雨などをきっかけに、谷底にたまった土砂や山腹から崩れ出した土砂が水と混じり合って一体となり、谷を一気に流れ下ることを「土石流」といいます。一瞬のうちに人家や田畑などを壊滅する恐ろしさから、山津波とも呼ばれている災害です。



### 前兆現象



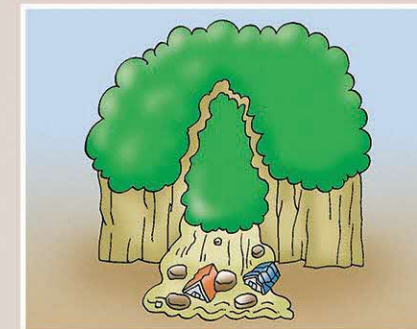
川が濁り、流木が一気に流れる



山鳴りがする

### 地すべり

雨や地下水などをきっかけに、山すそや丘陵地などの斜面などで、地中のすべりやすい地層を境に地面がそっくり動き出すことを「地すべり」といいます。その発生規模は広範囲にわたり、人家や田畑が崩壊してしまうこともあります。



### 前兆現象



地面にひび割れができる



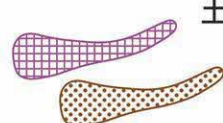
斜面の所々から急に水がわき出す

## 土砂災害(特別)警戒区域

土砂災害(特別)警戒区域の指定は、土砂災害防止法に基づき、土砂災害から人命や財産を守るため、危険性のある区域を明らかにし、警戒避難体制の整備や危険箇所への新規住宅の立地抑制等のソフト対策を充実させていくことを目的としています。

### 土砂災害警戒区域

土砂災害が想定される区域



### 土砂災害特別警戒区域

土砂災害警戒区域のうち、建築物に損害が生じ、住民に著しい被害が発生する恐れがあり、特定の開発行為の制限や建築物の構造規制を行う区域





# 高潮について知る

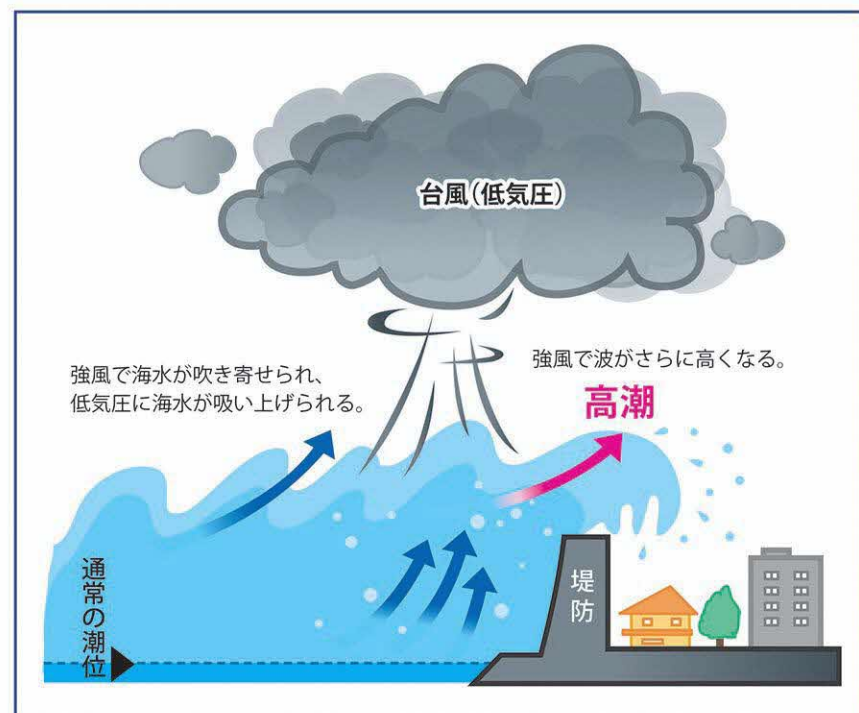
## 過去の主な高潮災害の紹介

台風が海岸に接近したり上陸するときには、気圧が低いために海面が吸い上げられ異常に上昇し、沖合いから沿岸に向かって吹く暴風とともに海水が陸地に押し寄せます。この現象を高潮と言います。高潮が満潮時と重なると陸地への被害は一層大きくなります。

平成 16 年の台風 16 号は、8 月 30 日、強い勢力で西日本を縦断しました。台風の接近、通過に伴う気圧低下で海面が上昇し、南からの暴風による吹き寄せで豊後水道などから瀬戸内海に大量の海水が送り込まれ、瀬戸内海沿岸では高潮が発生しました。

香川県の沿岸部においては、既往最高潮位を大幅に超える高潮により、その被害は、死者 3 名、重軽傷者 6 名、床上浸水 5,496 戸、床下浸水 15,643 戸にのぼり、台風が通過した翌日にも高潮による影響が残りました。

## 高潮発生メカニズム



### 低気圧による吸い上げ

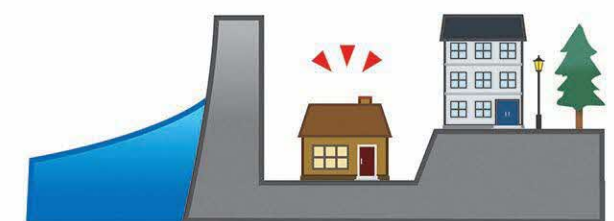
台風や低気圧の中心付近では、気圧が低いため、その部分の空気が海面を吸い上げるように作用する結果、海面が上昇します。気圧が 1 hPa 低くなると、海面は約 1cm 上昇します。

### 風による吹き寄せ

台風などによる強風が沖から海岸に向かって吹くと、海水が海岸に吹き寄せられ海面が上昇します。潮位の上昇は風速の 2 倍に比例します。風速が 2 倍になれば海面上昇は 4 倍になります。また、台風接近に伴い風で大きな波も発生して、海面がさらに高くなります。

## 高潮の危険なところ

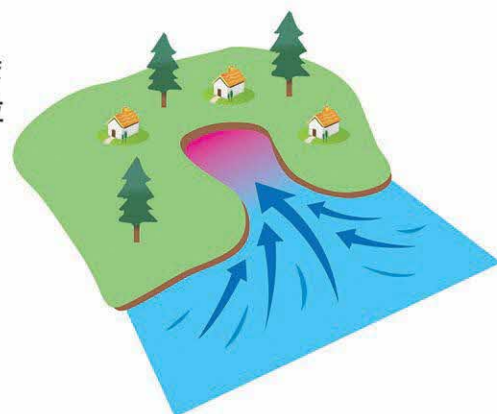
### ▶ 海岸付近の低平地



ゼロメートル地帯など海岸付近の低地では、高潮による浸水被害を被る危険性が高くなります。

### ▶ 湾奥部

海水が湾奥に集まるので湾内の水位が上がります。

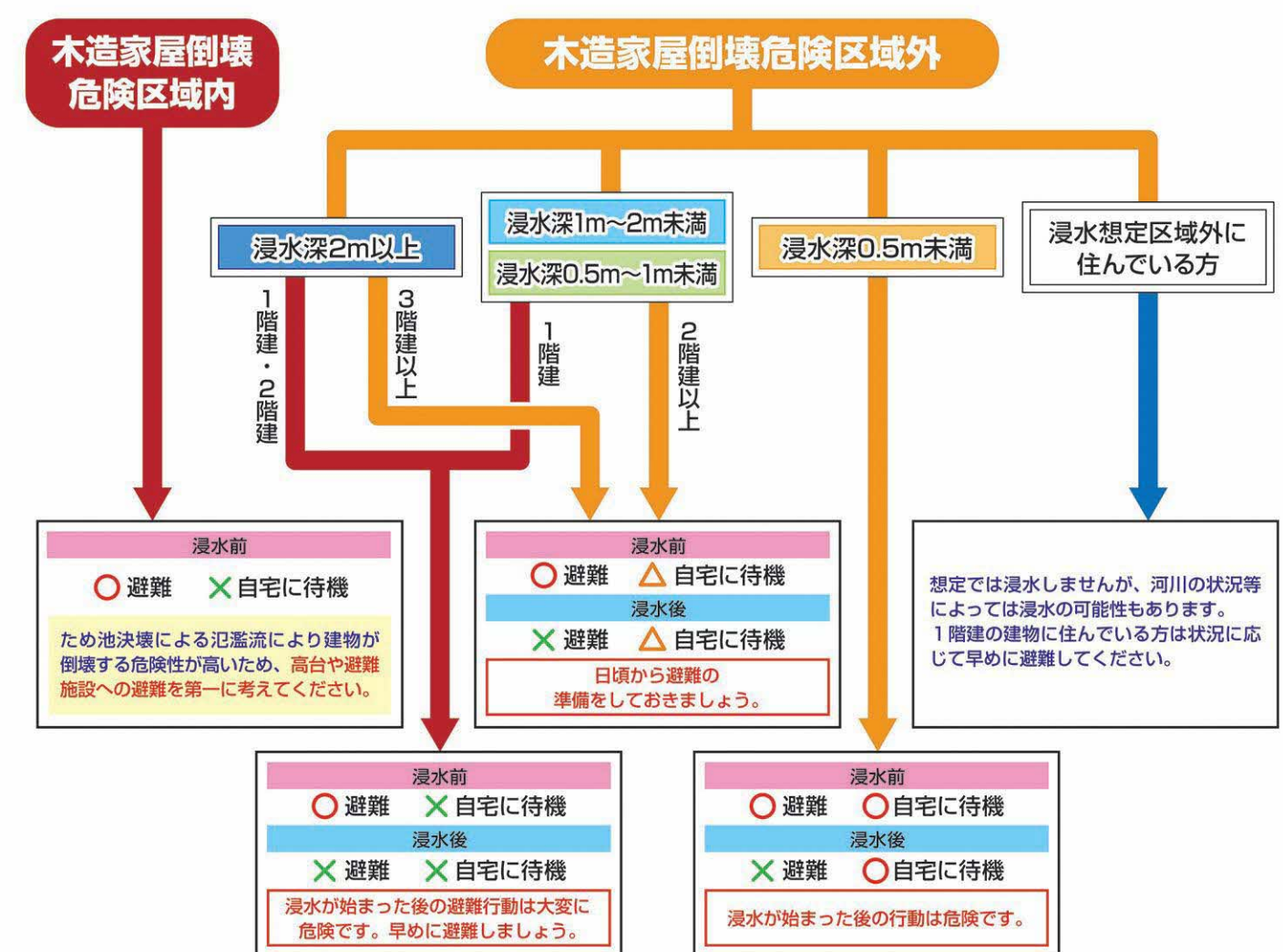


# ため池決壊について知る

## ため池決壊時の避難方法

地震時直ちに高所へ避難する必要がある地域(要避難地区)は「木造家屋倒壊危険区域」とその外側にある「歩行避難困難区域」です。この区域内で木造 1 階建て家屋に住む方は速やかに避難する必要があります。

また、「木造家屋倒壊危険区域」内で木造家屋に住んでいる方は、2 階以上に逃げても倒壊することがあります。速やかに安全な避難場所に避難してください。



## ため池決壊の起こり方と災害事例

### 1 南海地震や直下地震、大雨で堤防が損壊する

…亀裂や堤防前面の滑落箇所から漏水など

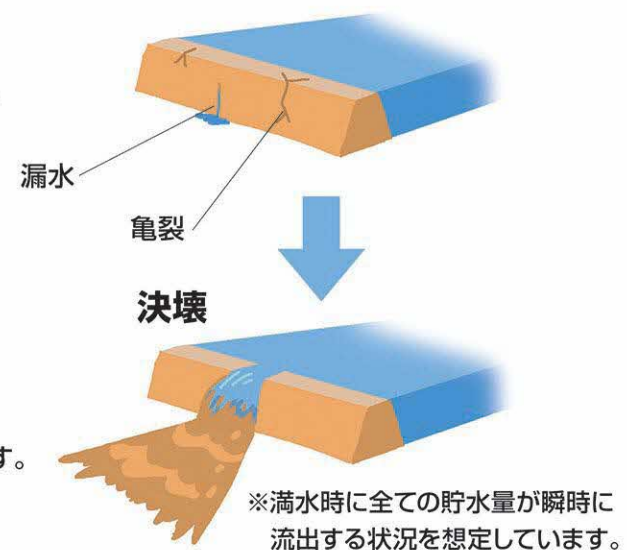
### 2 破損した堤防が、貯水に耐えきれず「決壊」する

### 3 ため池決壊による被害

…大量の水や土砂が濁流となって、同時に押し寄せます。

…決壊地点直下の地域や車は押し流される可能性があります。

…道路や住宅地、田畑は土砂に埋まります。







# 地震が起きたら

## 地震発生から避難後までの行動マニュアル

地震は突然発生するので日ごろの備えが大切です。大きな地震が発生したら「慌てずに身の安全を確保」、「安全なところに移動」、「より安全なところに避難」

津波、山・がけ崩れの危険が予測される地域の方は身の安全を確認してすぐ避難

地震発生

1~2分



3分



5分



10分

数時間

3日

### 最初の大きな揺れは約1分間

- 頭を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難する。
- あわてて外へ飛び出さない。
- 大きな揺れの場合は、揺れがおさまってから火の始末をする。



### 揺れがおさまったら

- 火元を確認、火が出たら落ち着いて初期消火する。
- 家族の安全を確認、倒れた家具の下敷きになっていないかを確認。
- 家の中はガラスの破片が散乱。靴や厚手のスリッパをはく。
- 避難するときは、屋根瓦等の転落やブロック塀・自動販売機等の転倒に注意する。
- 仕事やレジャーで海岸部に滞在している場合、直ちに高台へ避難する。



### みんなの無事を確認 火災の発生を防ぐ

- |                |                                 |              |
|----------------|---------------------------------|--------------|
| 隣近所に<br>声をかけよう | ●災害弱者の安全確保、隣近所で助け合う。            | ●けが人はいないか。   |
| 出火防止<br>初期消火   | ●初期消火、消火器を使う。バケツリレー、風呂の水はためておく。 | ●漏電・ガス漏れに注意。 |
|                | ●電気のブレーカーを下げる・ガスの元栓を閉める。        |              |

### 協力して消火活動、救出・救護活動

- 大声で知らせる。
- 救出・救護をする。
- 防災機関、自主防災組織の情報を確認する。
- デマにまどわされないようにする。
- 避難時に車は極力使わない。
- 電話は緊急連絡を優先する。



### ラジオ等で正しい情報を得る

- 水、食料は蓄えているものでまかなう。
- 3日間(できれば1週間)の飲料水と食料の準備をしておく。
- 災害・被害情報を収集する。
- 助け合いの心が大切。
- 壊れた家に入らない。



## 緊急地震速報

緊急地震速報は、地震が発生してから強い揺れが襲来するまでのごく短い時間を利用して、地震による被害を軽減しようとする情報です。緊急地震速報が鳴ったら「周囲の状況に応じて、あわてずにまず身の安全を確保する。」

気象庁は、最大震度5弱以上が予想された場合で、震度4以上の揺れが予想される地域に対して緊急地震速報(警報)を発表します。地震速報は、以下の方法で専用の報知音とともに伝えられます。



テレビ



携帯電話・スマホ



防災行政無線



防災ラジオ

震源に近い地域では、緊急地震速報の発表が強い揺れに間に合わないことがあります。



# 地震に備える

## 耐震診断、耐震改修工事について

宇多津町では、大規模な地震による人的・経済的被害を軽減するため、昭和56年5月31日以前の旧耐震基準に建てられた住宅を対象に耐震診断・耐震改修工事等の費用の一部を補助します。詳しくは、町ホームページをご確認ください。



問合せ先 地域整備課 0877-49-8012

宇多津町民間住宅耐震

### 補助の対象となる住宅

- 昭和56年5月31日以前に着工された一戸建て、長屋、併用住宅
- 町内に存する住宅であり、耐震対策を行った後も、主たる住居の場として利用されること。
- 建築基準法の規定に基づく違反がないこと。
- 簡易耐震改修工事については、木造の住宅であること。
- この事業により耐震診断や耐震改修を行っていないこと。



## 家具・家電の転倒防止対策

地震の揺れによる家具・家電等の転倒から命を守るため、寝室や通路にある家具等は、倒れないようにきちんと固定するか、安全な場所に移動させましょう。

家具の  
転倒・落下  
を防ぐ  
ポイント

#### タンス・本棚

L字金具や鎖・ベルトなどで固定する。二段重ねの場合は、つなぎ目を金具でしっかり連結しておく。



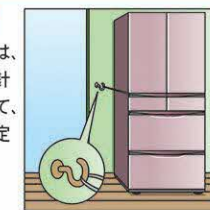
#### 食器棚

L字金具や鎖・ベルトなどで固定し、棚板には滑りにくい材質のシートやふきんなどを敷く。重い食器は下に、軽い食器は上の方に置く。扉が開かないように止め金具をつける。



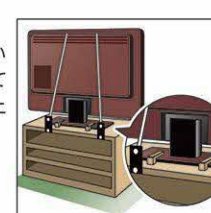
#### 冷蔵庫

2ドアの場合は、扉と扉の間に針金などを巻いて、金具で壁に固定する。



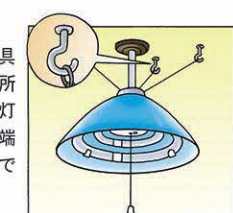
#### テレビ

できるだけ低い位置に固定して置く(家具の上は避ける)。



#### 照明器具

チェーンと金具を使って数ヶ所止める。蛍光灯は蛍光管の両端を耐熱テープで留めておく。



#### ピアノ

本体にナイロンロープなどを巻き付け、取り付け金具などで固定する。脚には、すべり止めをつける。



宇多津町では、地震発生時における家具類の転倒等による被害を軽減するために家具類転倒防止器具等の購入費用の一部を補助します。詳しくは町ホームページをご確認ください。

問合せ先 危機管理課 0877-49-8027

### 補助の対象となる器具

家具類の転倒防止対策を実施する為のL字金具、連結金具、ポール式器具、ベルト式器具、ストッパー式器具、マット式器具、扉開放防止器具、収容物落下防止器具 など







# 地震・津波について知る

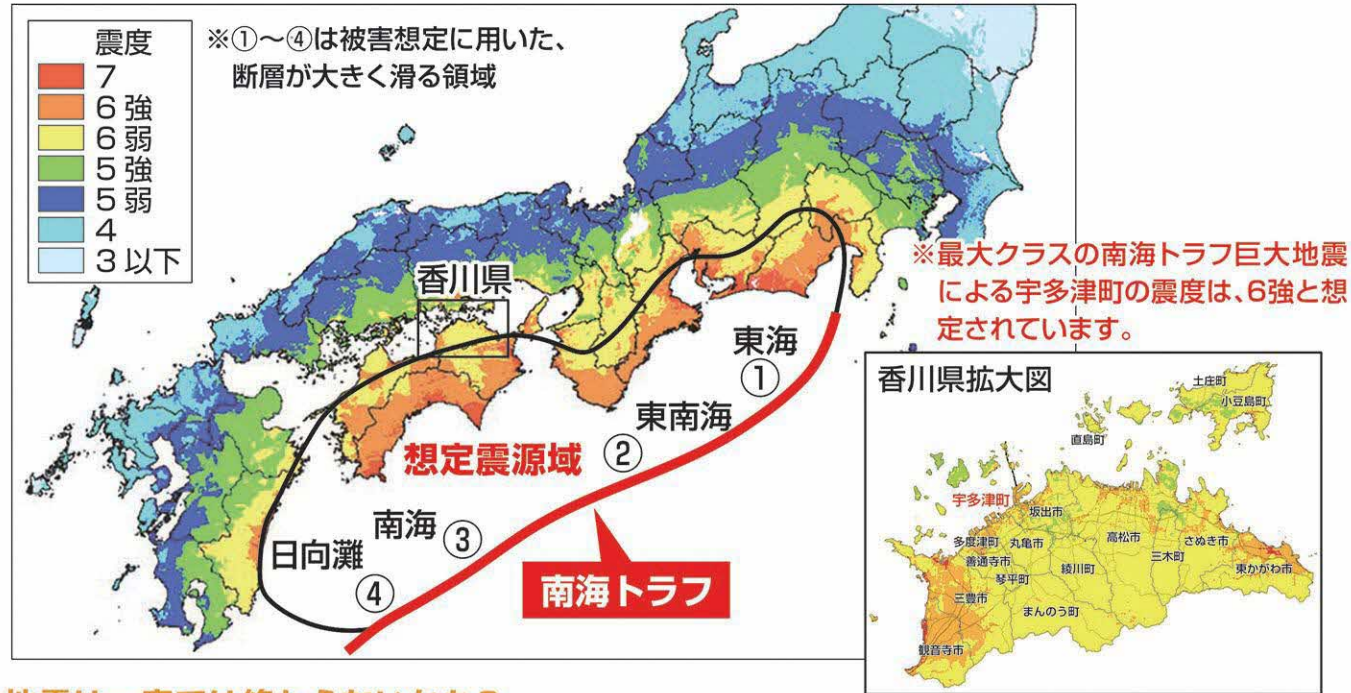
## 南海トラフ地震について

### ▶ 今後30年以内の発生確率は70%～80%程度

東海沖から四国沖にかけての領域を震源とする南海トラフ地震は、これまで100年～150年の周期で発生しており、今後、30年以内の発生確率は、70%～80%程度とされています。(2020年1月政府地震調査委員会)

南海トラフ地震が発生した場合、最大マグニチュード9クラスの巨大地震であると考えられており、東海から九州にかけての広い地域に強い揺れや津波が襲来すると想定されています。

### 南海トラフ巨大地震による震度の最大値の分布



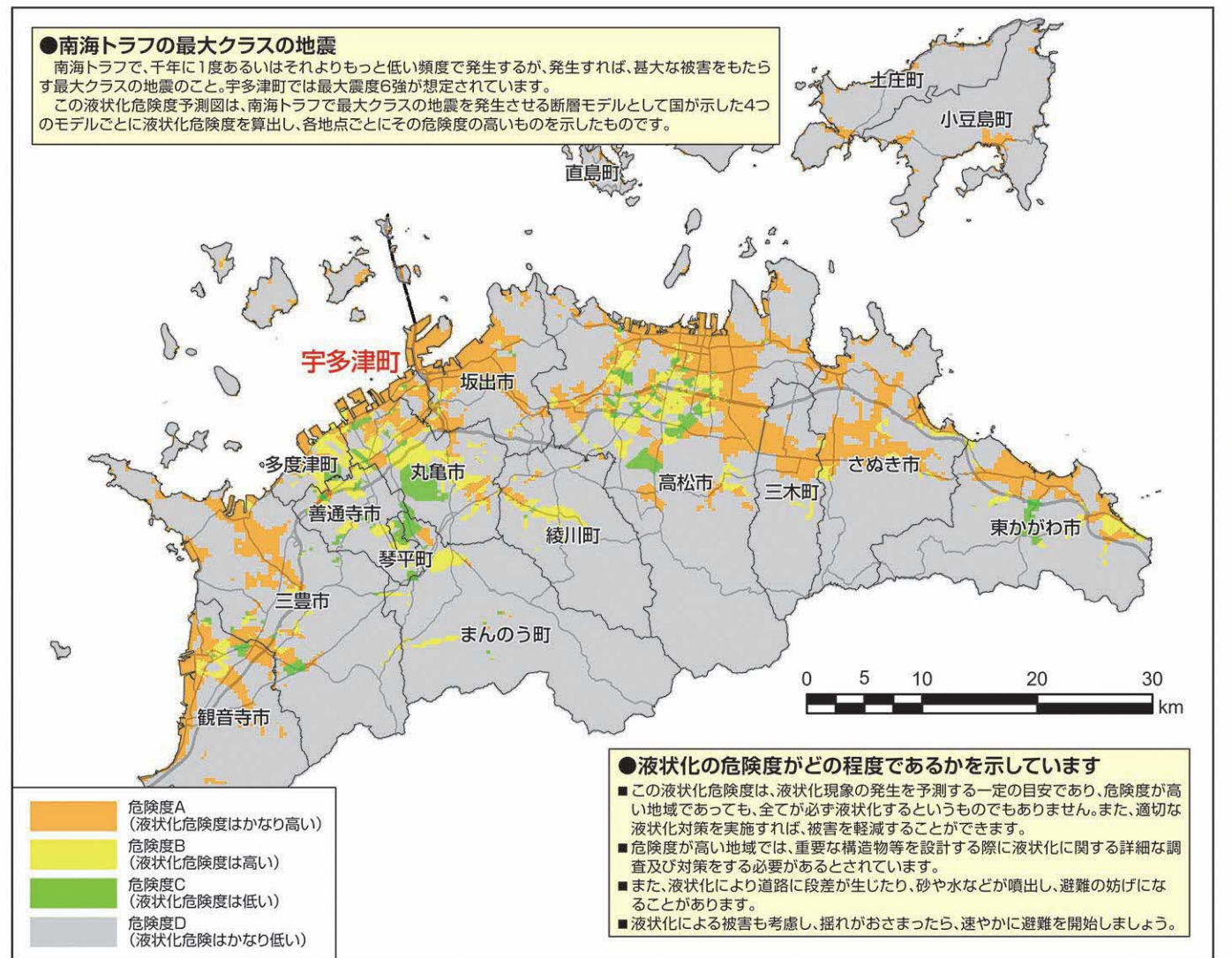
### ▶ 地震は一度では終わらないかも？



## 地震の揺れと想定される被害

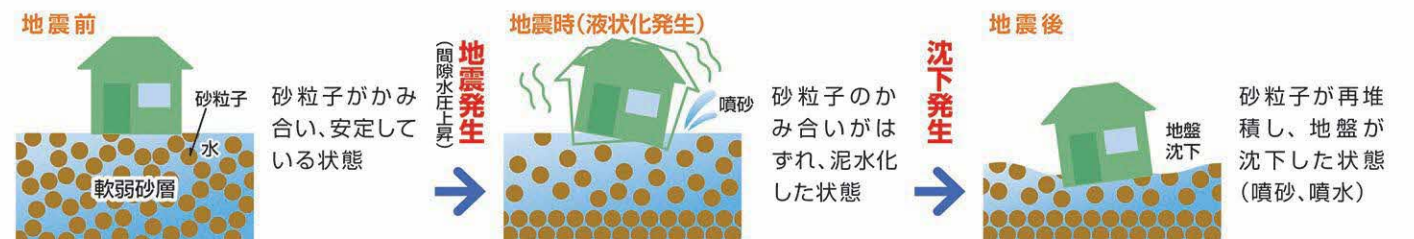
震度0	●人は揺れを感じない。	震度5弱	●棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。 ●まれに窓ガラスが割れて落ちることがある。 ●電柱が揺れるのがわかる。
震度1	●屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がある。	震度5強	●物につかまらないう歩くことが難しい ●固定していない家具が倒れることがある。 ●自動車の運転が困難になる。
震度2	●屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。 ●つり下がった電灯などがわずかに揺れる。	震度6弱	●立っていることが困難になる。 ●壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。 ●耐震性の低い木造住宅では、倒壊するものもある。
震度3	●屋内にいる人のほとんどが揺れを感じる。 ●棚にある食器類が音を立てることがある。 ●電線が少し揺れる。	震度6強	●固定していない家具のほとんどが移動、倒れるものが多い。 ●耐震性の高い木造住宅でも、壁などにひび割れ・亀裂がみられることがある。
震度4	●ほとんどの人が驚く。 ●つり下げたものは大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる。 ●自動車を運転していて、揺れに気付く人がある。	震度7	●揺れにほんろうされる。 ●ほとんどの家具が移動し、飛ぶこともある。 ●耐震性の高い木造住宅でも、まれに傾くことがある。

## 香川県液状化危険度予測図(南海トラフの最大クラスの地震)



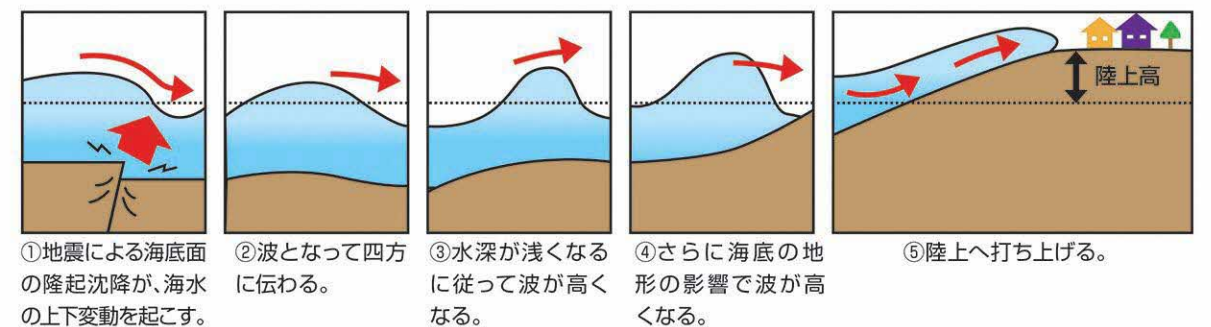
## 液状化のメカニズム

液状化とは、地震によって地盤が一時的に液体になってしまう現象で、地盤の上の建物を傾かせたり沈ませたりします。



## 津波はどのように襲ってくるのか

海底で大きな地震が発生すると、断層運動により海底が隆起もしくは沈降します。これに伴って海面が変動し、大きな波となって四方八方に伝播するものが津波です。







# 南海トラフ地震臨時情報について知る

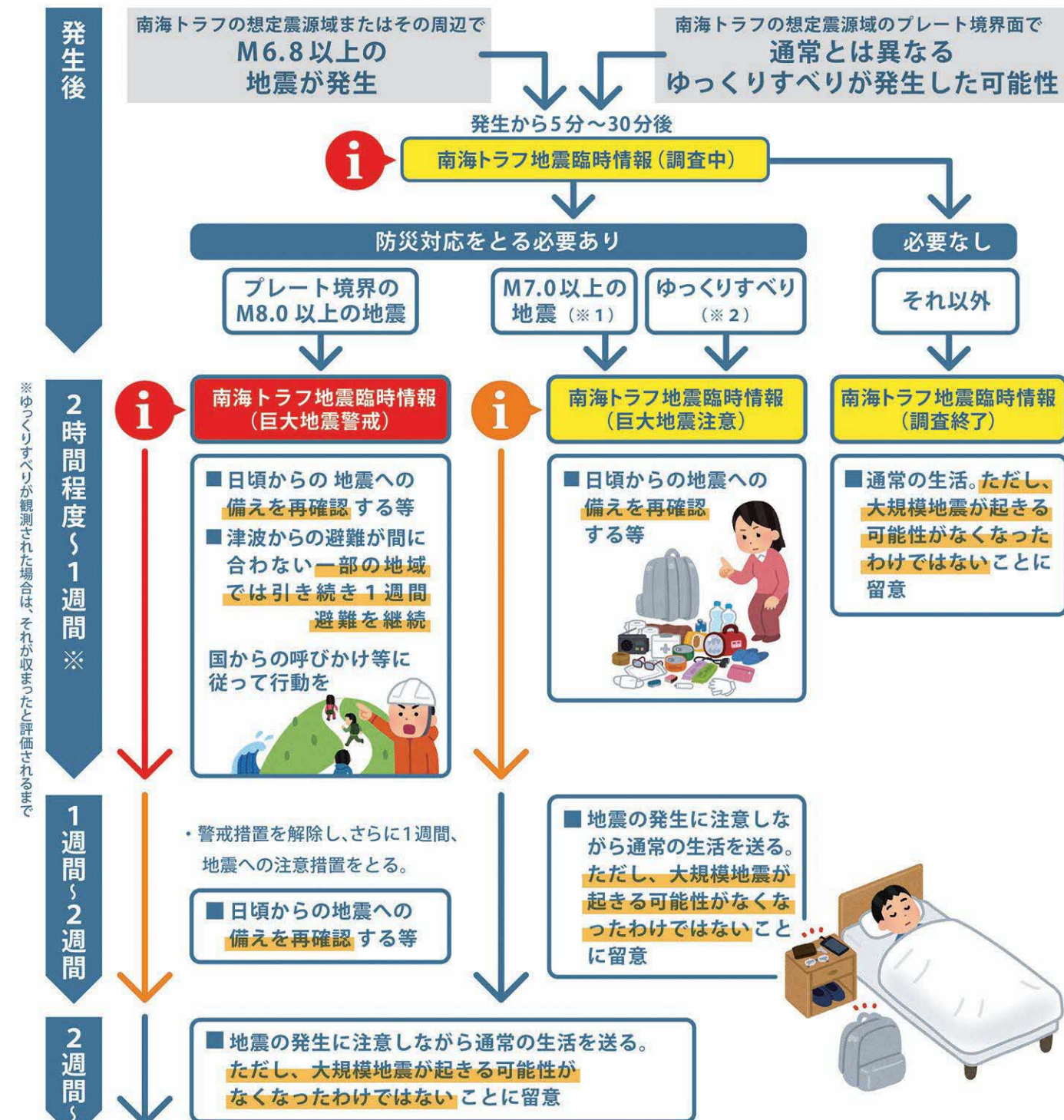
## 南海トラフ地震臨時情報

南海トラフでは、過去に約 32 時間後や約 2 年後などに東側と西側で時間差を置いて大規模な地震が発生したことがあることから、時間差で発生する大規模地震に備える必要があります。

「南海トラフ地震臨時情報」は、例えば、南海トラフ沿いの東側で地震が発生し、西側でも地震が続発する可能性が高まった場合などに気象庁より発表されます。

南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒・巨大地震注意)が発表された場合、国や県、町からの呼びかけに従い、後発の大規模地震に備える防災対応をとってください。

## 地震発生後の防災対応の流れ



## 南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)の発表時の対応

南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)が発表された場合、お住いの地域によっては避難に時間を要する方(高齢者、障がい者等)は、後発の大規模地震に備えた事前避難が必要となります。

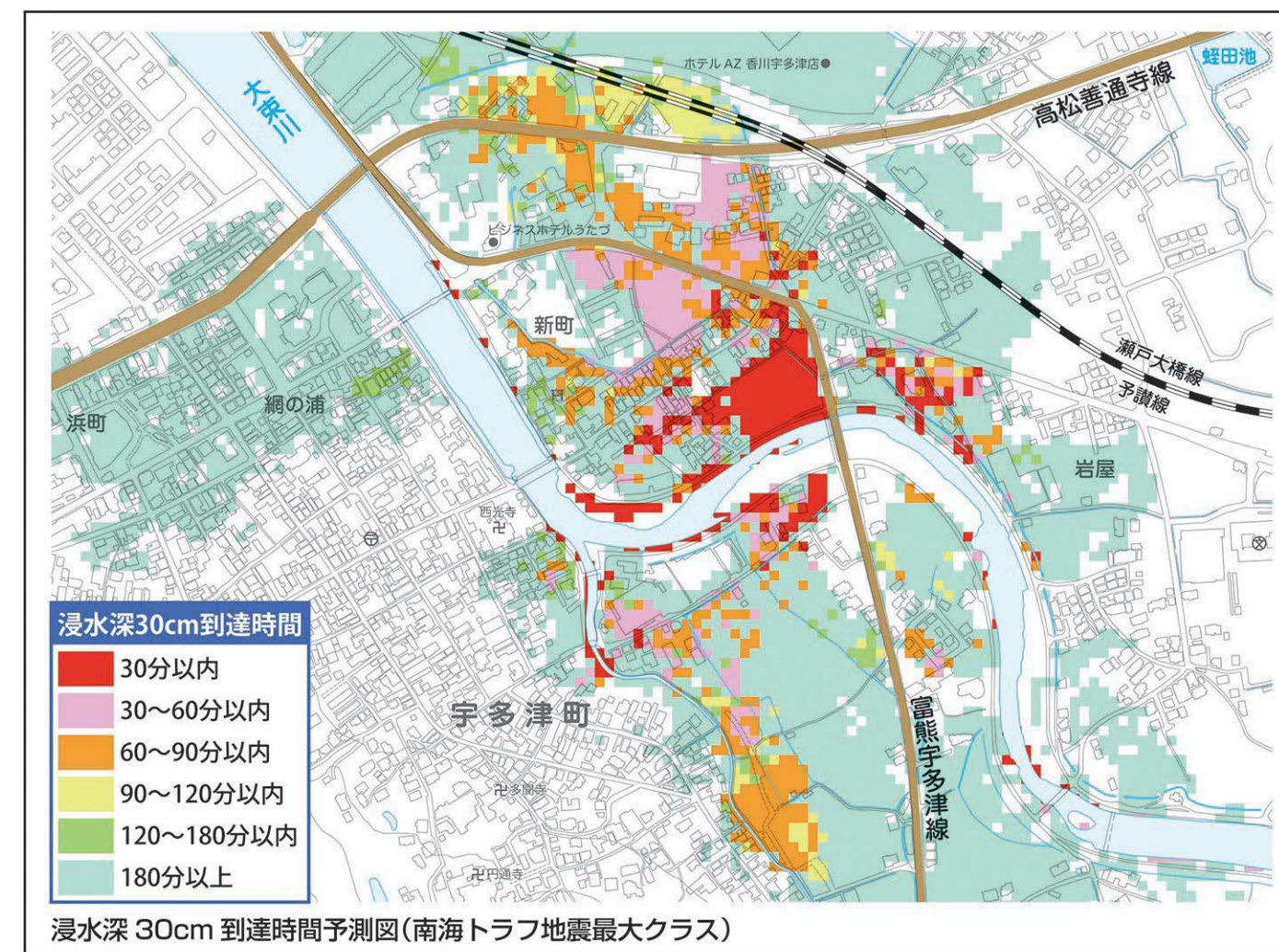
### ▶ 事前避難対象地域について

香川県及び県内の市町では、令和元年9月に「南海トラフ地震臨時情報発表時の香川県内における防災対応方針」を取りまとめました。この対応方針では、臨時情報(巨大地震警戒)が発表された場合の事前避難の考え方を次のように定めています。

- 避難検討対象地域 堤防崩壊等により 30cm 以上の浸水が地震発生から 30 分以内に生じると想定される地域(下の予測図では、赤のメッシュの地域)
- 避難対象者 避難検討対象地域内の要配慮者を基本とする。
- 事前避難の期間 1 週間を基本とする。

### ▶ 南海トラフ地震(最大クラス)の浸水深 30cm 到達時間予測図

町では、南海トラフ地震(最大クラス)の浸水深 30cm 到達時間予測図を基に、津波に限らず、浸水 30cm 以上になると人が歩行での避難が困難になることから、30cm 以上の浸水が 30 分以内に生じると想定される地域を避難検討対象地域とし、南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)が発表された場合は、地域内の要配慮者を対象として、町の開設する指定避難所又は、安全な場所にある親族や知人の所等に 1 週間程度の事前避難をお願いします。



なお、南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)が発表された場合は、日頃からの地震の備えを再確認するとともに、日常生活を行いつつ、一定期間地震発生に注意し、できるだけ安全な防災行動をとることを基本とします。







<b>想 災</b> 想定 定水 区浸 域水	<b>【浸水深】</b> 3.0～5.0m未満 1.0～3.0m未満 0.5～1.0m未満 0.5m未満	<b>【台風浸水実績】</b> 平成16年 台風23号	<b>【家屋】</b> 氾濫 想定 区域 等	<b>【急傾斜地】</b> 特別警戒区域 警戒区域	<b>【土石流】</b> 特別警戒区域 警戒区域	<b>【避難場所】</b> 指定緊急避難場所 指定避難所 福祉避難所	<b>【災害危険箇所】</b> アンダーパス 災害危険箇所	<b>【河川関連施設】</b> 水位・雨量観測所 排水機場 水門	<b>【災害時関連施設】</b> 医療機関 要配慮者施設 AED 防災行政無線(スピーカー)	<b>【防災行政無線(情報カメラ)】</b> 消防団屯所 交番 小・中学校	<b>【その他】</b> 幼稚園 保育園 主要道路
------------------------------------	------------------------------------------------------------------	-----------------------------------	------------------------------------	---------------------------------	--------------------------------	---------------------------------------------	-------------------------------------	-------------------------------------------	------------------------------------------------------------	------------------------------------------------	------------------------------------

# 大東川洪水(想定最大規模)・土砂災害ハザードマップ①









想洪水

浸水深

定水

区浸

域水

3.0~5.0m未満

1.0~3.0m未満

0.5~1.0m未満

0.5m未満

【台風浸水実績】

平成16年  
台風23号

家屋倒壊等  
想定区域等

【急傾斜地】

特別警戒区域

警戒区域

【土石流】

特別警戒区域

警戒区域

避難場所

指定緊急避難場所

指定避難所

福祉避難所

災害危険箇所

アンダーパス

河川関連施設

水位・雨量観測所

排水機場

水門

災害時関連施設

医療機関

要配慮者施設

AED

防災行政無線(スピーカー)

防災行政無線(情報カメラ)

消防団屯所

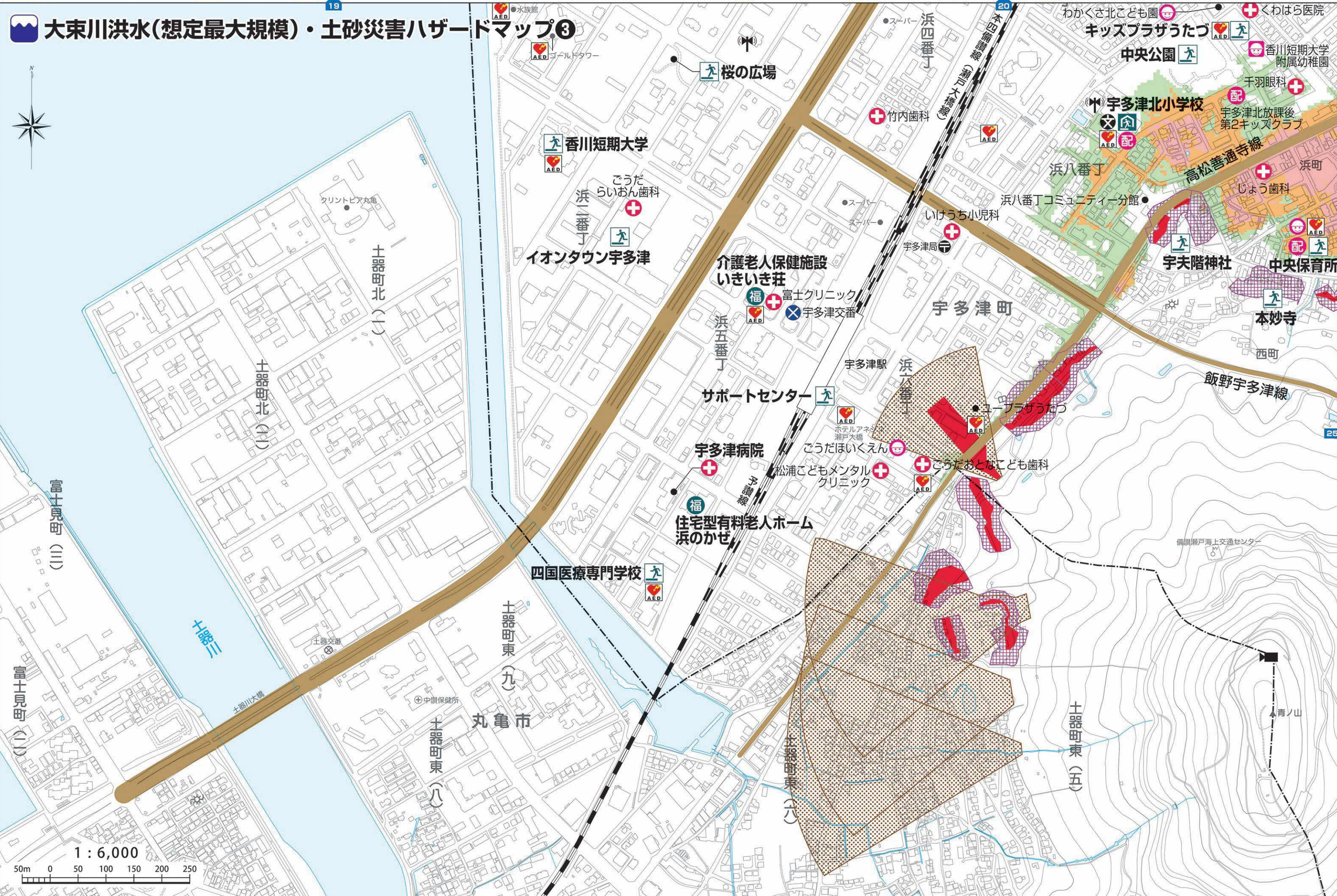
交番

小・中学校

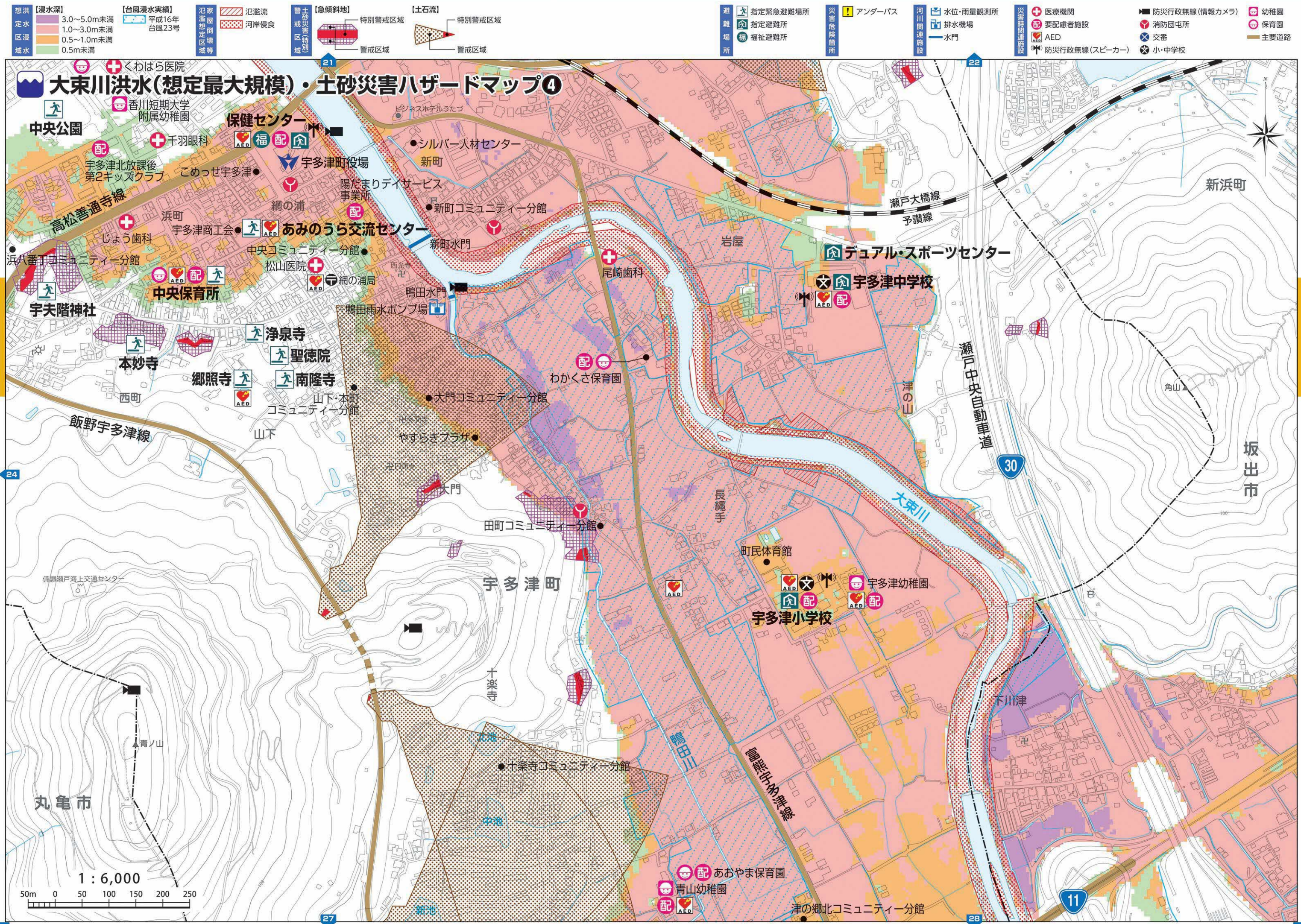
幼稚園

保育園

主要道路









想洪水

浸水深

3.0～5.0m未満

1.0～3.0m未満

0.5～1.0m未満

0.5m未満

【台風浸水実績】

平成16年

台風23号

氾濫家

氾濫想定区域等

【急傾斜地】

特別警戒区域

警戒区域

【土石流】

特別警戒区域

警戒区域

避難場所

指定緊急避難場所

指定避難所

福祉避難所

災害危険箇所

アンダーパス

河川関連施設

水位・雨量観測所

排水機場

水門

災害時関連施設

医療機関

要配慮者施設

AED

防災行政無線(スピーカー)

防災行政無線(情報カメラ)

消防団屯所

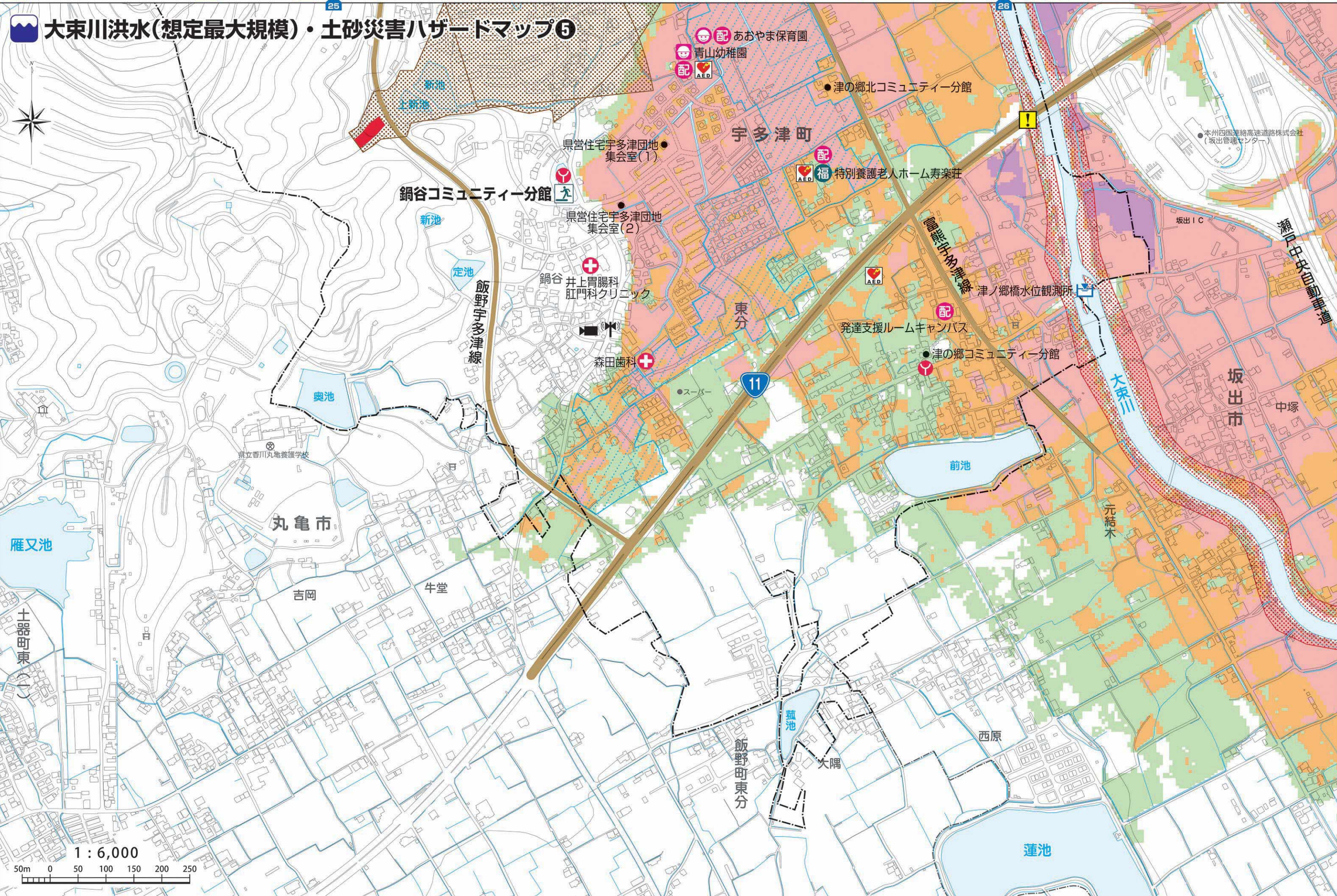
交番

小・中学校

幼稚園

保育園

主要道路





想洪水

浸水深

3.0～5.0m未満

1.0～3.0m未満

0.5～1.0m未満

0.5m未満

【台風浸水実績】

平成16年

台風23号

氾濫家

氾濫想定区域

氾濫

河岸侵食

【急傾斜地】

特別警戒区域

警戒区域

【土石流】

特別警戒区域

警戒区域

避難場所

指定緊急避難場所

指定避難所

福祉避難所

災害危険箇所

アンダーパス

河川関連施設

水位・雨量観測所

排水機場

水門

災害時関連施設

医療機関

要配慮者施設

AED

防災行政無線(スピーカー)

防災行政無線(情報カメラ)

消防団屯所

交番

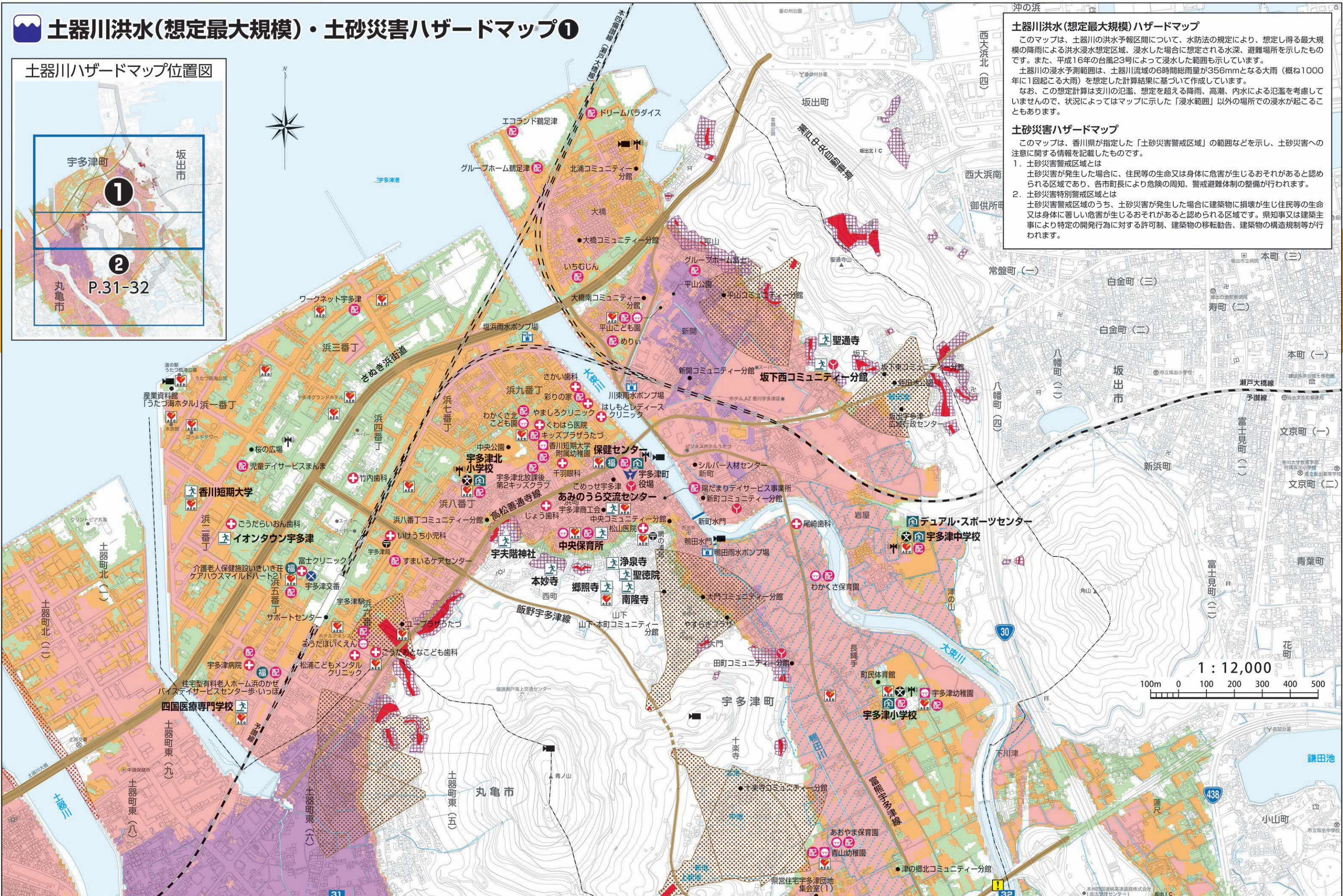
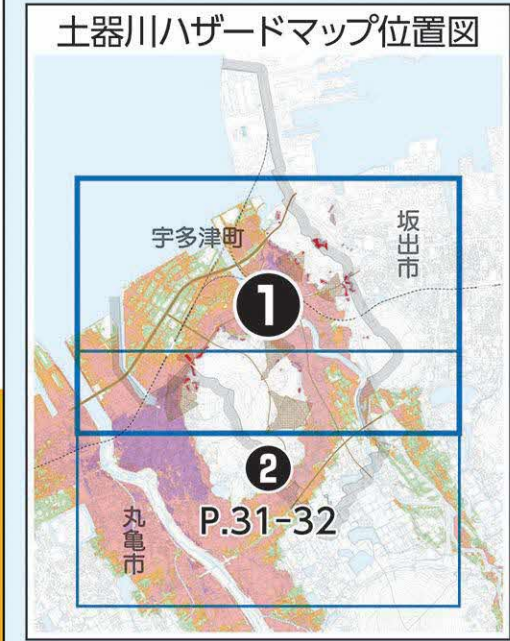
小・中学校

幼稚園

保育園

主要道路

# 土器川洪水(想定最大規模)・土砂災害ハザードマップ①



### 土器川洪水(想定最大規模)ハザードマップ

このマップは、土器川の洪水予報区間について、水防法の規定により、想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深、避難場所を示したものです。また、平成16年の台風23号によって浸水した範囲も示しています。

土器川の浸水予測範囲は、土器川流域の6時間総雨量が356mmとなる大雨(概ね1000年に1回起こる大雨)を想定した計算結果に基づいて作成しています。

なお、この想定計算は支川の氾濫、想定を超える降雨、高潮、内水による氾濫を考慮していませんので、状況によってはマップに示した「浸水範囲」以外の場所での浸水が起こることもあります。

### 土砂災害ハザードマップ

このマップは、香川県が指定した「土砂災害警戒区域」の範囲などを示し、土砂災害への注意に関する情報を記載したものです。

- 土砂災害警戒区域とは  
土砂災害が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域であり、各市町長により危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。
- 土砂災害特別警戒区域とは  
土砂災害警戒区域のうち、土砂災害が発生した場合に建築物に損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる区域です。県知事又は建築主事により特定の開発行為に対する許可制、建築物の移転勧告、建築物の構造規制等が行われます。



想洪

【浸水深】

定水

区浸

域水

3.0～5.0m未満

1.0～3.0m未満

0.5～1.0m未満

0.5m未満

【台風浸水実績】

平成16年

台風23号

【急傾斜地】

特別警戒区域

警戒区域

【土石流】

特別警戒区域

警戒区域

【土砂災害ハザード】

特別警戒区域

警戒区域

【避難場所】

指定緊急避難場所

指定避難所

福祉避難所

【災害危険箇所】

アンダーパス

災害危険箇所

【河川関連施設】

水位・雨量観測所

排水機場

水門

【災害時関連施設】

医療機関

要配慮者施設

AED

防災行政無線(スピーカー)

【防災行政無線(情報カメラ)】

消防団屯所

交番

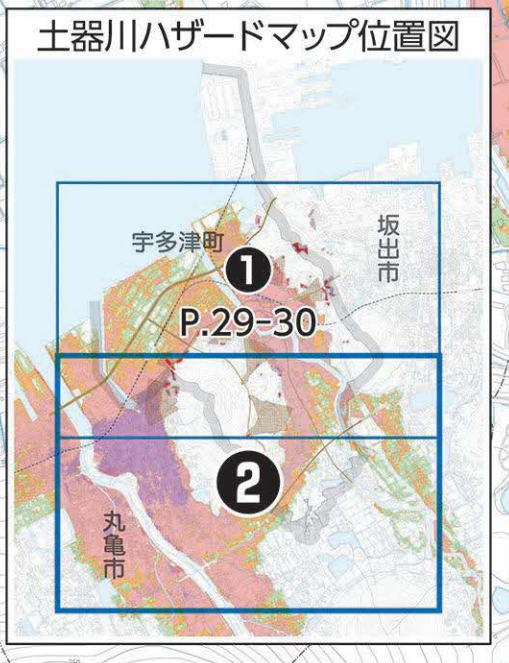
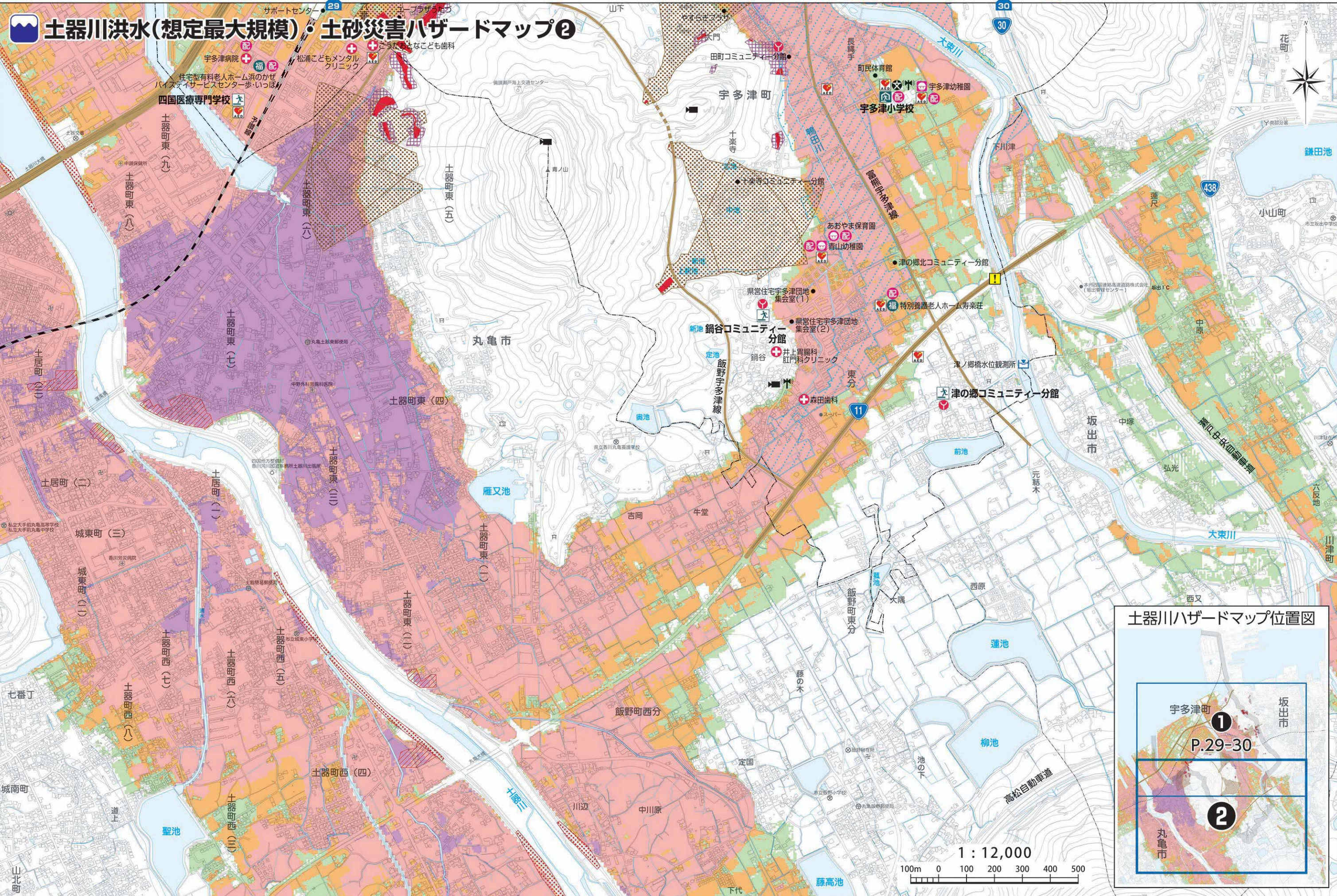
小・中学校

【その他】

幼稚園

保育園

主要道路





## 34







# 高潮ハザードマップについて

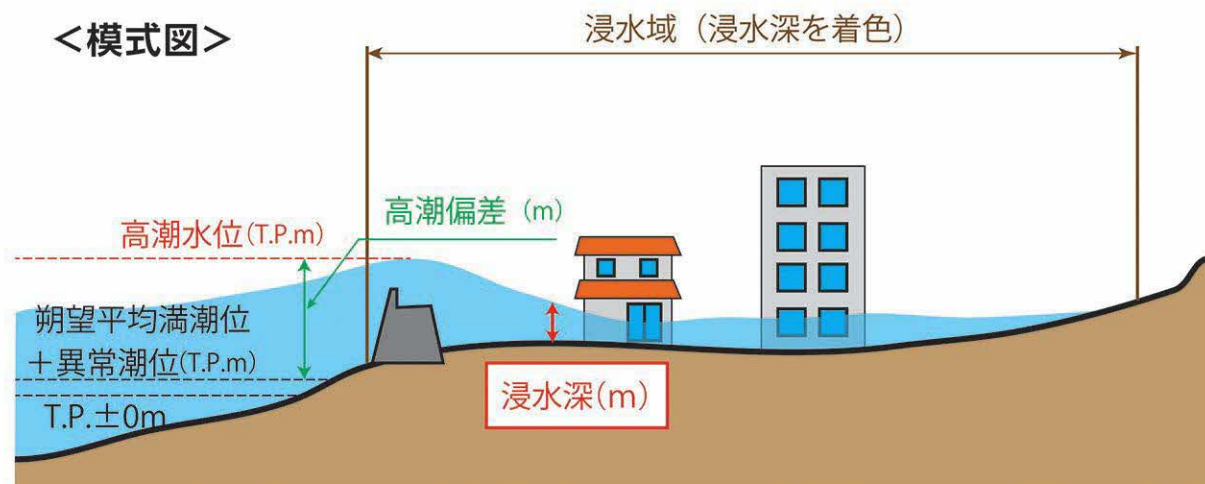
## 高潮浸水想定区域図について

香川県では、これまで伊勢湾台風(940hPa)並みの台風が平成16年台風16号のコースを通過したケースに想定される高潮浸水予測区域図(確率規模160年程度)を作成・公表していましたが、平成27年の水防法改正を踏まえて、これまでを上回る想定し得る最大規模の高潮による高潮浸水想定区域図を作成し、令和3年3月に公表しました。

### 高潮(想定最大規模)ハザードマップ

- このマップは、水防法の規定により想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合に、浸水が想定される区域、避難場所を示したものです。
- 高潮浸水想定区域図の作成にあたっては、最悪の事態を想定し、日本に上陸した既往最大台風である「室戸台風(910hPa)」により、県内各地区に大きな影響を与える複数の経路を設定し、堤防・水門等は設計条件に達した段階で決壊するものとして、高潮シミュレーションを実施しています。
- この複数の高潮浸水シミュレーションの結果から、最大となる浸水区域を抽出し示しています。
- 台風等により高潮が発生する状況では、同時に降雨も想定されるため、国直轄河川及び県管理河川のうち、洪水予報河川・水位周知河川については、河川整備の目標とする降雨による洪水が同時に発生した場合を想定しています。
- 高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響があること、想定していない雨水出水(内水)が発生すること等、浸水想定区域以外でも浸水が発生したり、浸水深が深くなる場合があります。
- 現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではありません。

### <模式図>

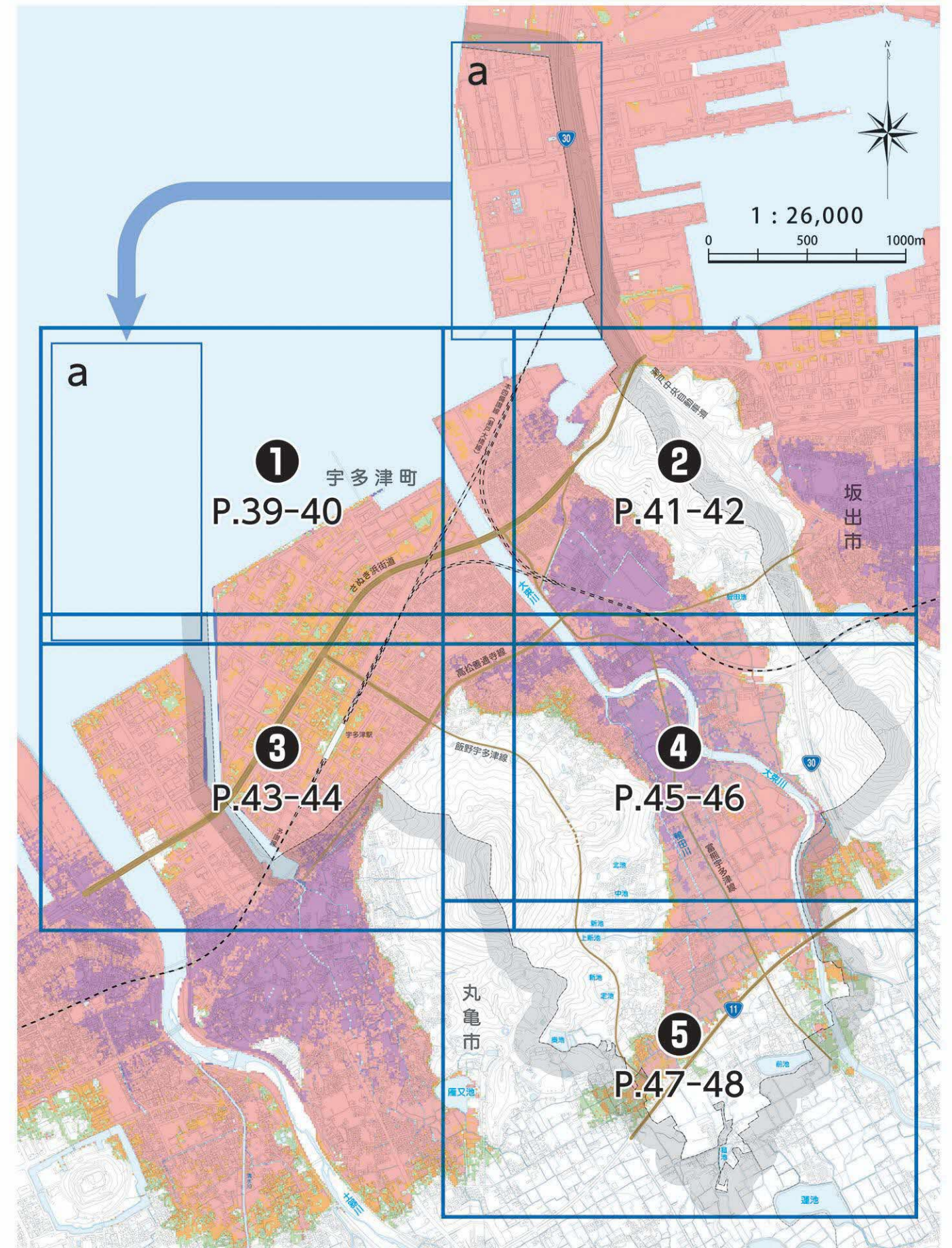


#### 用語の解説

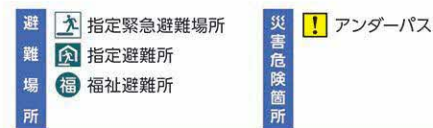
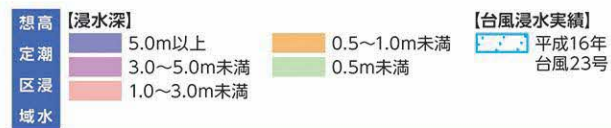
**浸水域**：高潮や高波に伴う越波・越流によって浸水が想定される区域

**浸水深**：陸上の各地点で水面が最も高い位置にきた時の地面から水面までの高さ

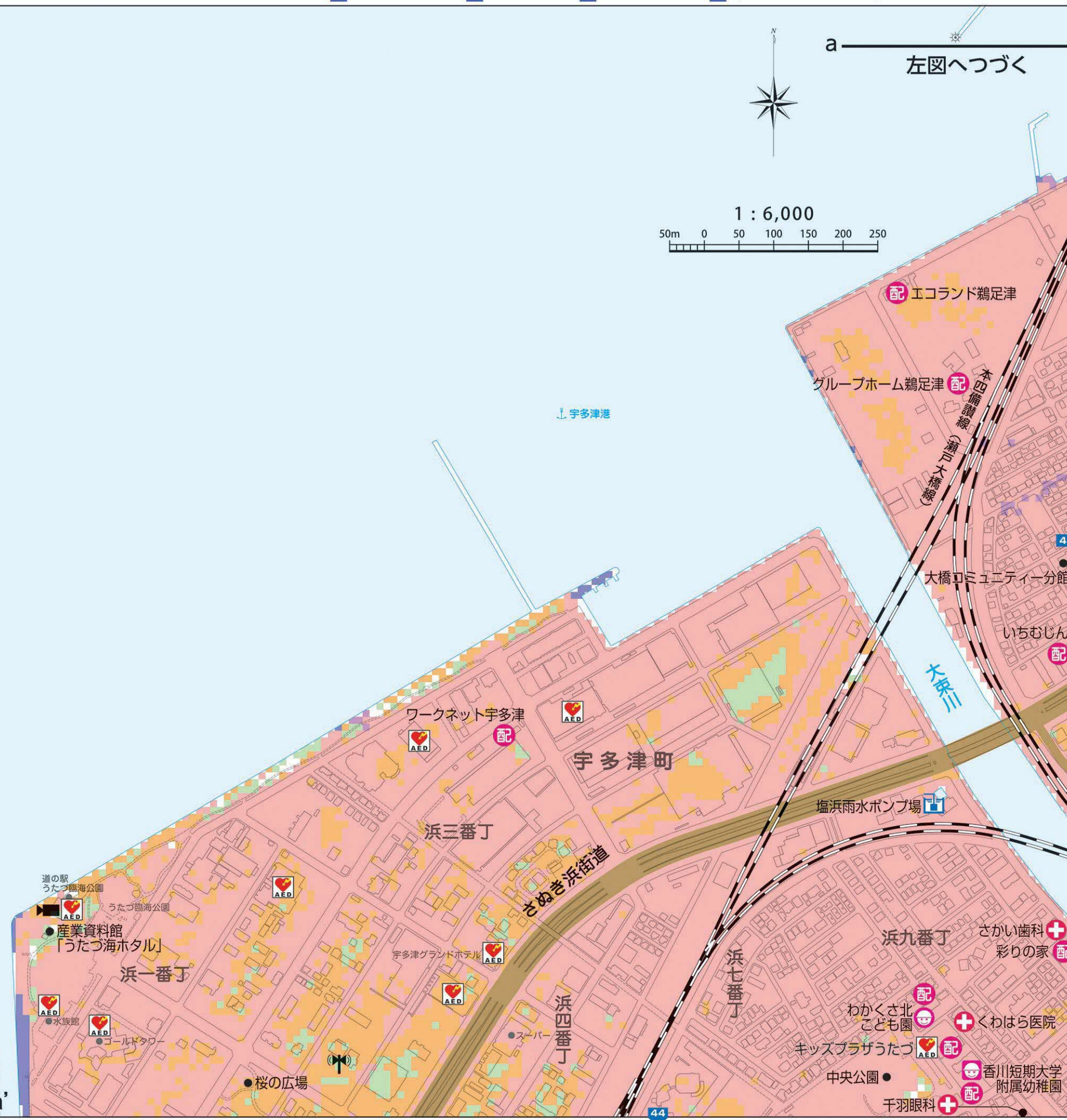
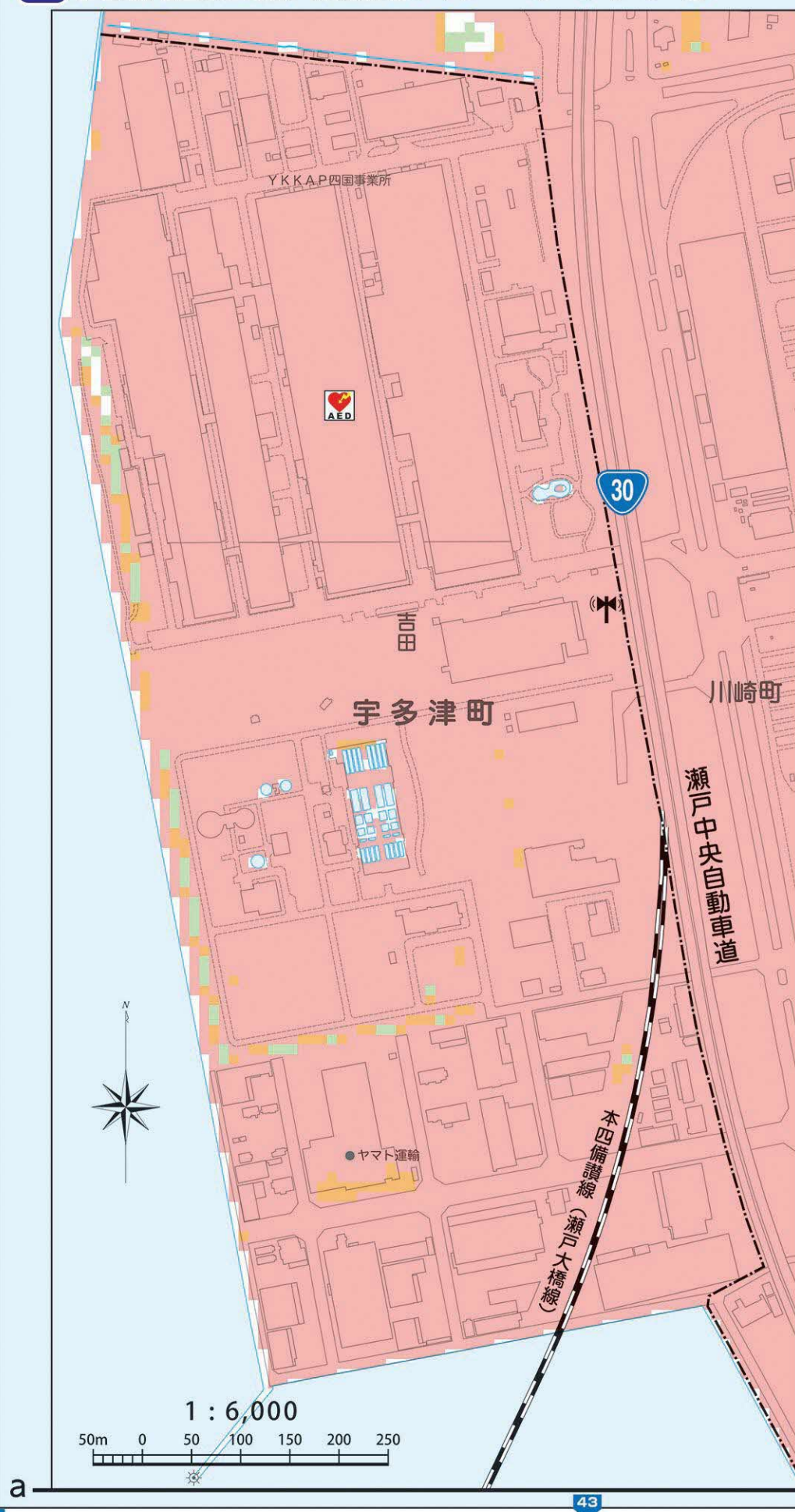
# 高潮(想定最大規模)ハザードマップ



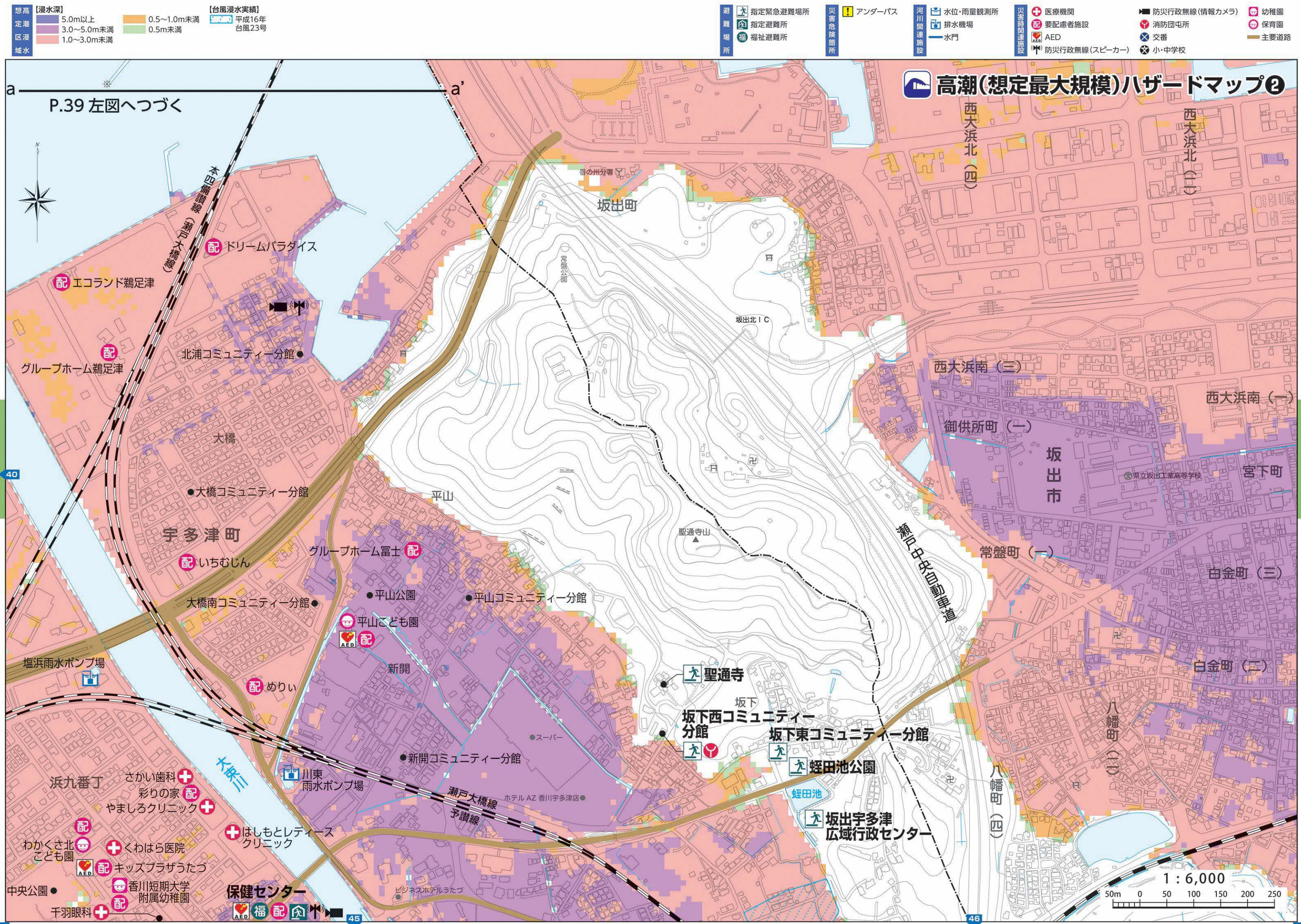




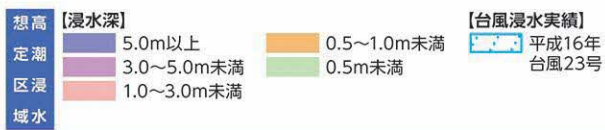
# 高潮(想定最大規模)ハザードマップ①



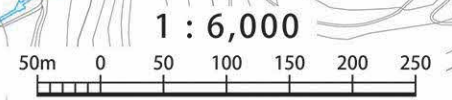
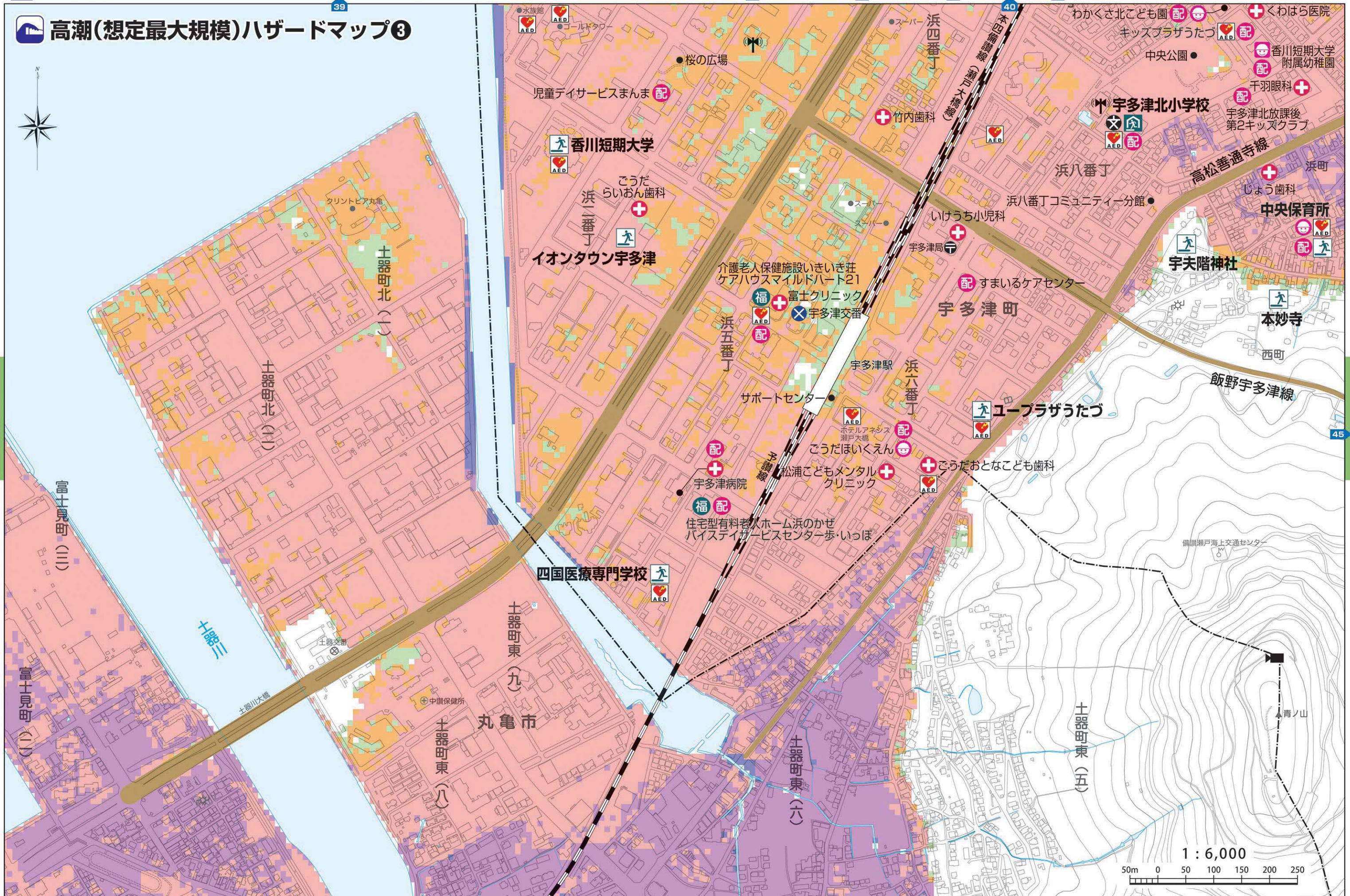




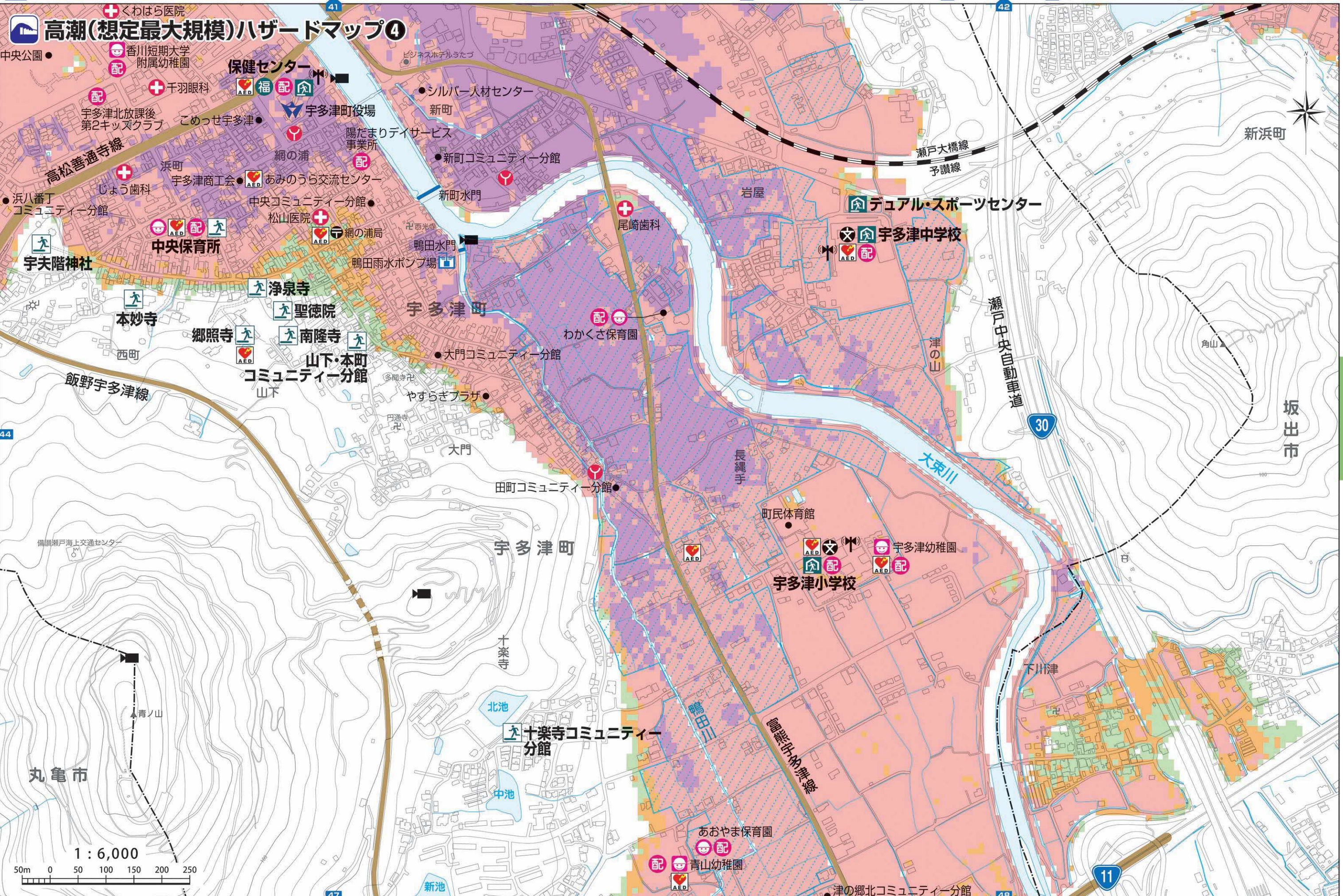
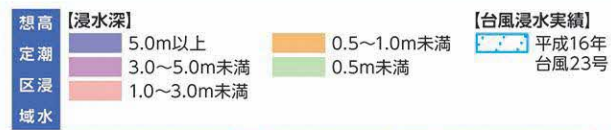




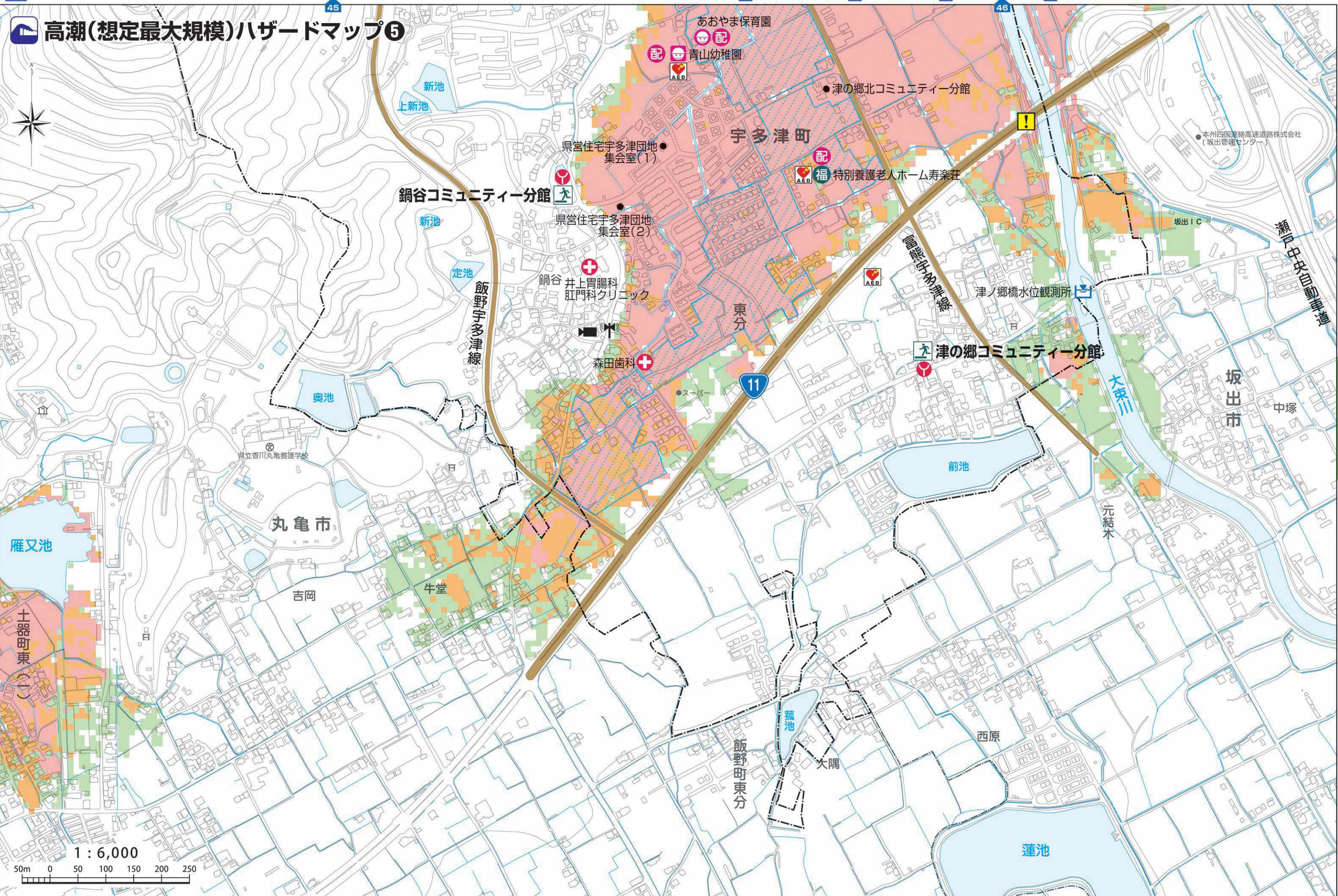
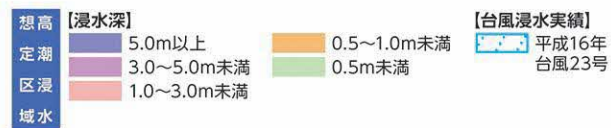
## 高潮(想定最大規模)ハザードマップ③



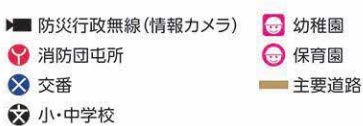
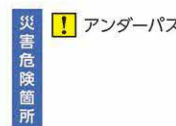
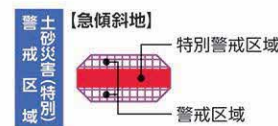






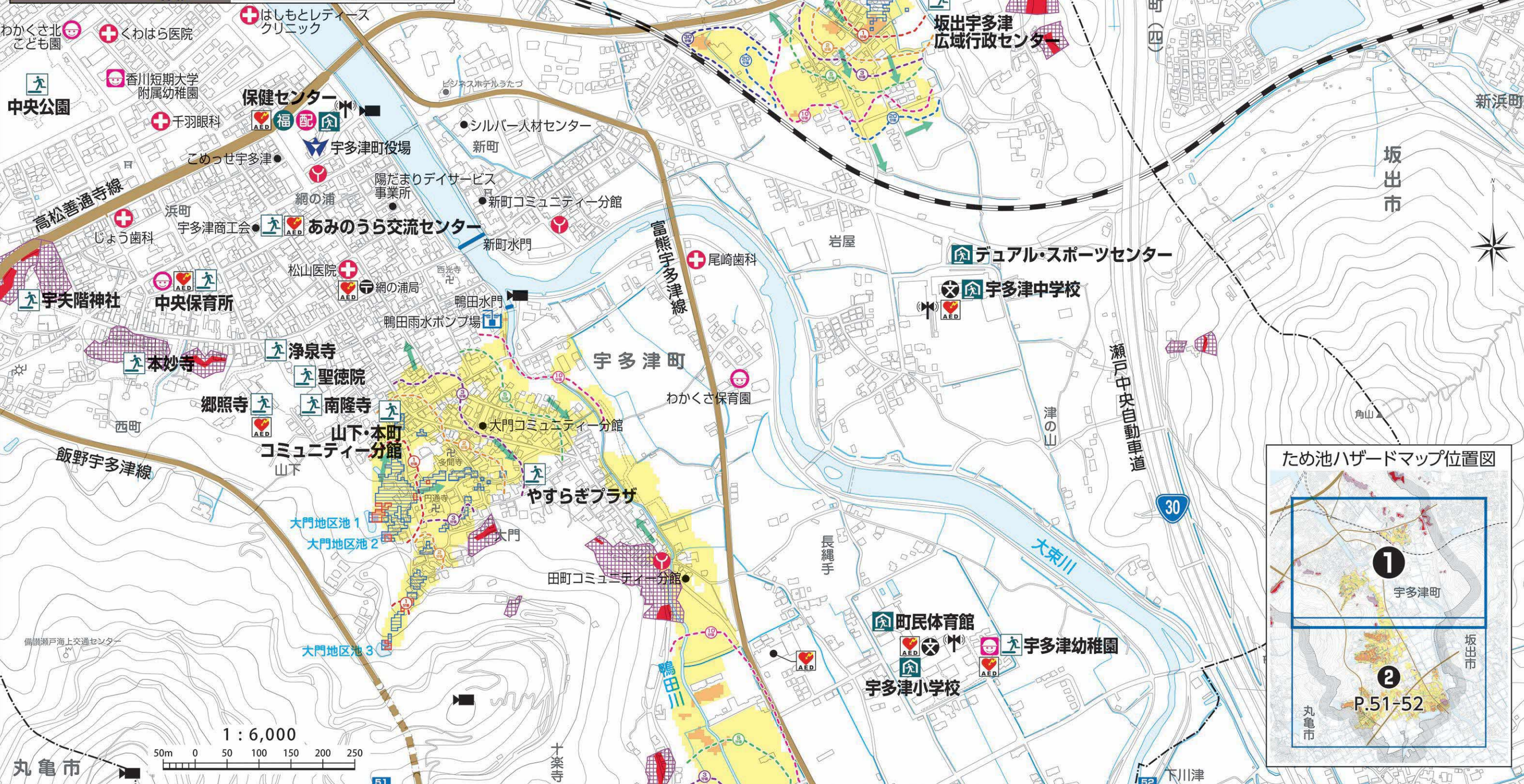
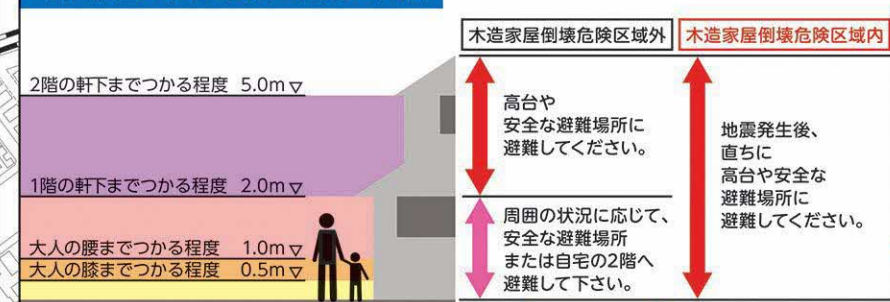






# ため池・土砂災害ハザードマップ①

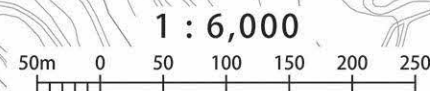
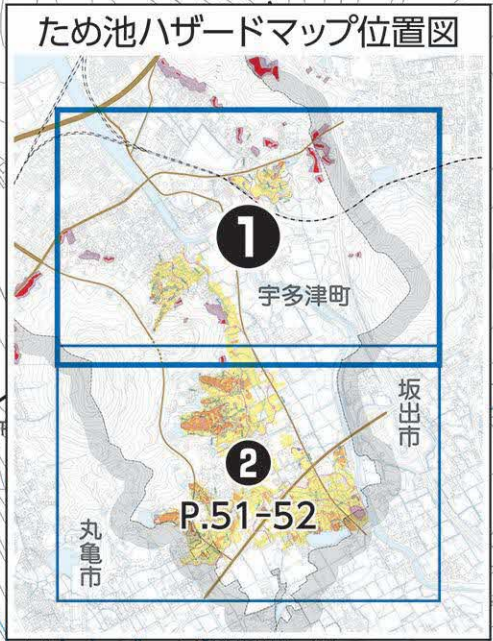
## 木造家屋の被害程度と避難の目安



**ため池ハザードマップ**

このマップは、町内の規模の大きいため池が地震等により決壊した場合を想定し、洪水の浸水範囲・到達時間などの情報をもとに浸水想定区域を設定して、災害時の自主的な避難に役立てていただくことを目的として作成しています。

1. 木造家屋倒壊危険区域とは  
ため池決壊による氾濫流により木造家屋が倒壊する危険性が高いため、高台や安全な避難場所へ避難が必要な区域です。
2. 歩行避難困難区域とは  
ため池が決壊した場合、氾濫流により浸水が始まると歩行が困難となり避難できない可能性があるため、自宅の階数や想定浸水深の状況に応じて、浸水前の避難が必要となる区域です。  
浸水想定区域の近くにお住まいの方は、地震、豪雨等による災害に備えて、浸水からの安全な場所をご確認ください。









# 津波ハザードマップについて

## 津波警報と注意報の種類

種類	発表基準	発表される津波の高さ		想定される被害と取るべき行動
		数値での発表 (津波の高さ予想区分)	定性的表現 での発表	
大津波警報	予想される津波の高さが高いところで3mを超える場合。	10m超 (10m<予想高さ)	巨大	木造家屋が全壊流出し、人は津波による流れに巻き込まれます。 <b>ただちに海岸や川沿いから離れ、避難場所か高台など安全な所へ避難してください。</b>
		10m (5m<予想高さ≤10m)		
		5m (3m<予想高さ≤5m)		
津波警報	予想される津波の高さが高いところで1mを超え、3m以下の場合。	3m (1m<予想高さ≤3m)	高い	標高の低いところでは、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。 <b>ただちに海岸や川沿いから離れ、避難場所か高台など安全な所へ避難してください。</b>
津波注意報	予想される津波の高さが高いところで0.2m以上、1m以下の場合であって、津波による災害のおそれがある場合。	1m (0.2m≤予想高さ≤1m)	表記しない	海の中にいる人は速い流れに巻き込まれ、また、小型船舶が転覆します。 <b>ただちに海から上がって、海岸から離れてください。</b>

※町では大津波警報、津波警報、津波注意報のいずれの場合も避難指示を発令します。

## 宇多津町の津波想定

最高津波の水位  
(宇多津港) **2.8m**

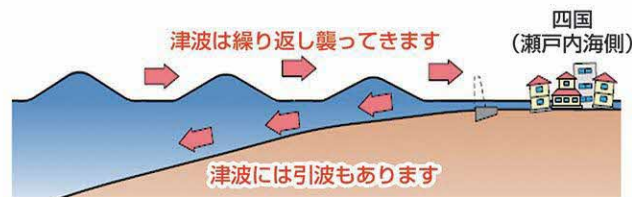
海面変動開始時間※  
(宇多津港) **38分**

浸水面積 **103ha**

※海面変動開始時間：  
地震発生直後の海面に±20cmの変動(海辺にいる人の人命に影響が出る恐れのある海面変動)が生じるまでの時間です。

### 津波の襲来

瀬戸内海では、津波は変化に富んだ地形にぶつかり、跳ね返るなど複雑な動きをし、津波がおさまるまで長い時間がかかるという特性があります。安全な場所に避難したら津波警報や津波注意報が解除されるまで戻ってはいけません。



### 河川への逆流(遡上)

津波は河口から河川に侵入し、何kmも上流に逆流(遡上)することがあります。逆流した津波が、河川堤防を越えて沿岸地域に大きな被害をもたらすことがあります。



### 最大クラスの津波について

この津波ハザードマップは、最大クラスの津波を想定しています。

最大クラスの津波とは、発生頻度は極めて低いものの、発生すれば甚大な被害をもたらす津波のことで、Mw9.1の規模を想定しています。

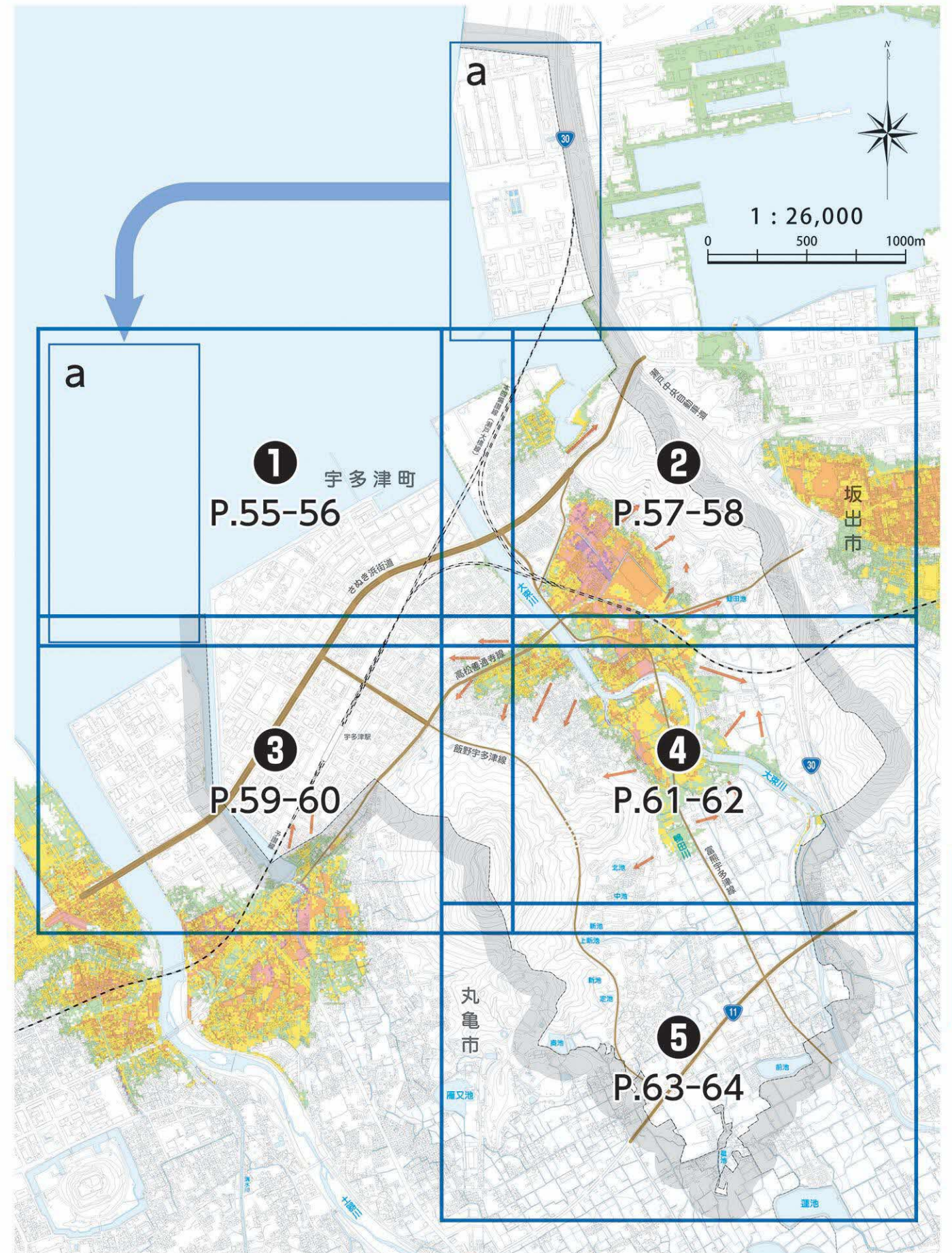
香川県沿岸に最大クラスの津波をもたらすと想定される津波断層モデルとして、内閣府「南海トラフの巨大地震モデル検討会」公表のモデルや平成24年度香川県検討モデル「安政南海地震」及び「宝永地震」、中央防災会議「東南海・南海地震等に関する専門調査会」から公表された「東南海・南海地震」及び「東海・東南海・南海地震」をもとに、海岸毎のシミュレーション結果を重ね合わせ、最大となる浸水域、最大となる浸水深を検討したものです。

- 条件1** 潮位が朔望平均満潮位(各月の最高の満潮面の平均値)に津波が発生。  
**条件2** 地震による地殻変動で、海域は隆起・沈降を考慮し、陸域は沈降のみを考慮。また、液状化による陸域の沈降を考慮。  
**条件3** 河川・海岸等の構造物は、盛土構造物は75%沈下、コンクリート構造物は100%沈下。また、津波が堤防等の構造物を乗り越えた場合、破壊すると仮定。

#### 【留意事項】

- 「津波浸水想定」は、津波防災地域づくりに関する法律(平成23年法律第123号)第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。
- 「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域(浸水域)と水深(浸水深)を表したものです。
- 最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
- 浸水域や浸水深は、局所的な地面の凹凸や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変状等に関する計算条件との差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。
- 浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。
- 「津波浸水想定」では、津波による河川内や湖沼内の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

# 津波ハザードマップ



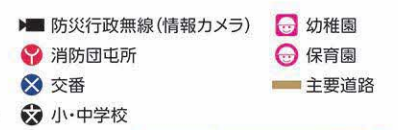
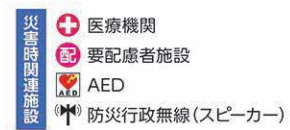
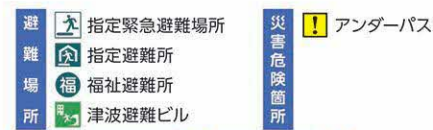




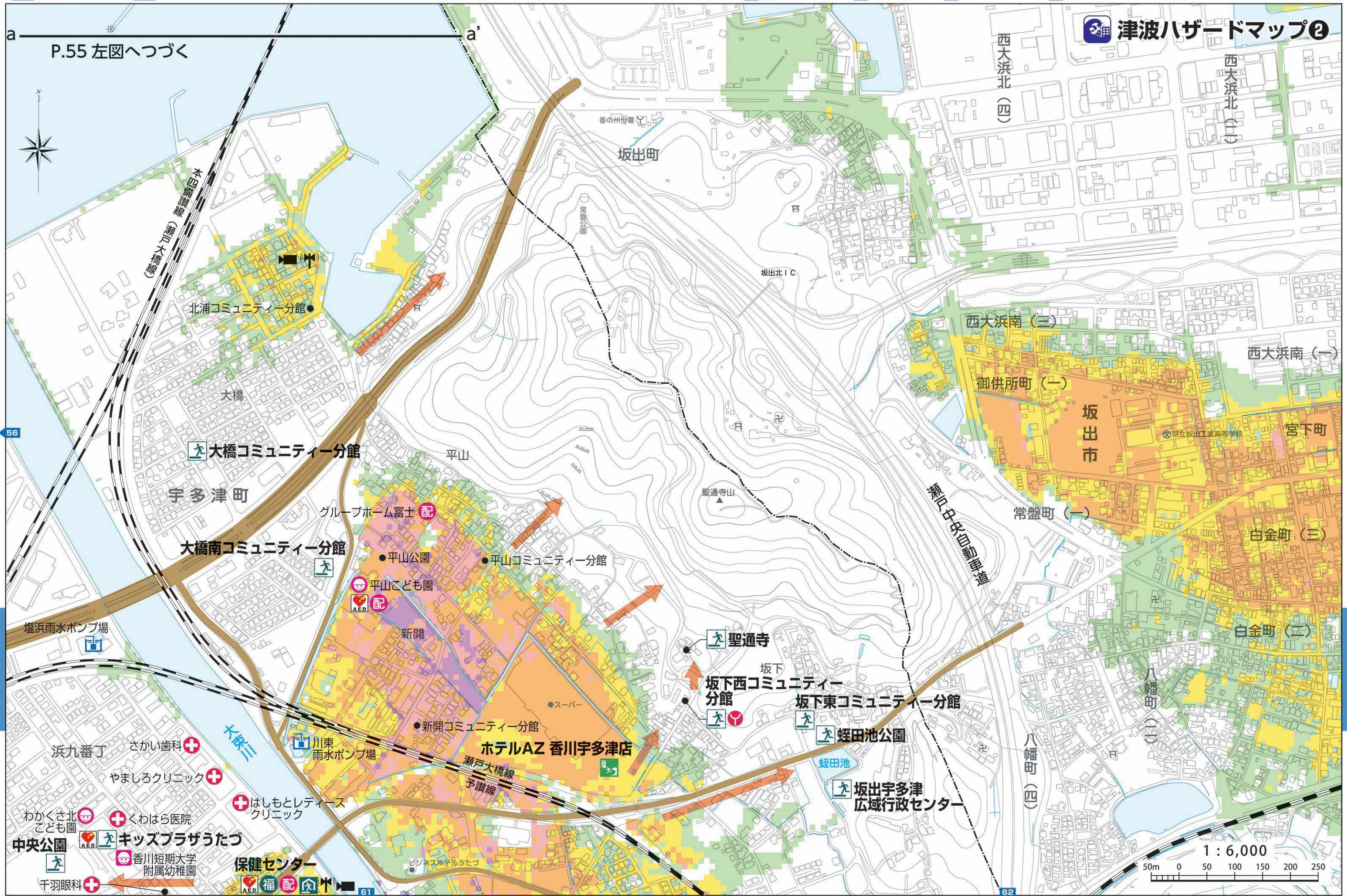
# 津波ハザードマップ①







## 津波ハザードマップ②



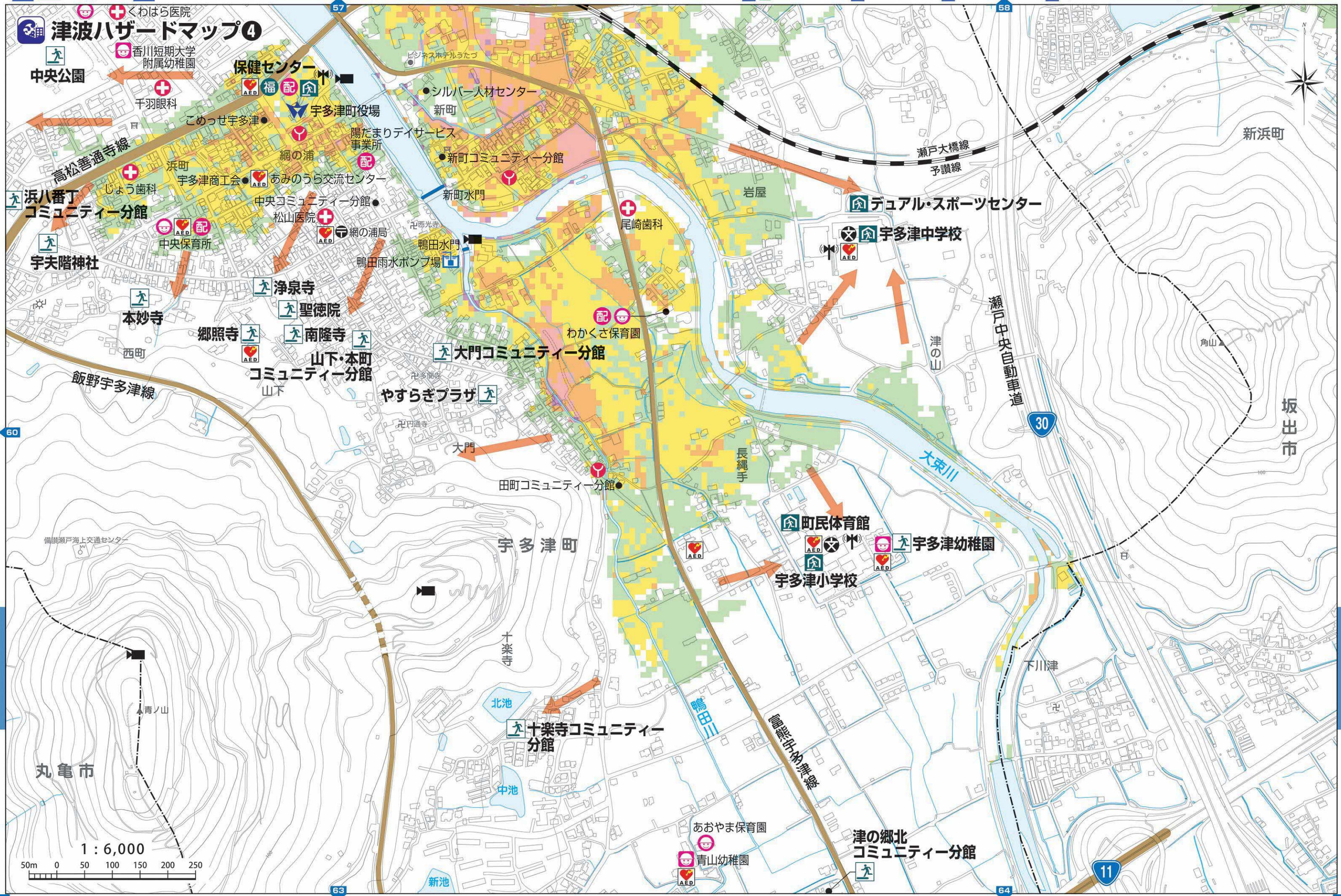
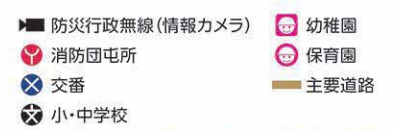
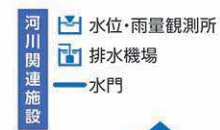
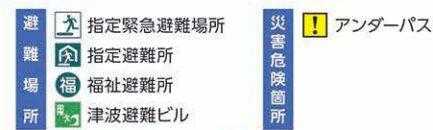




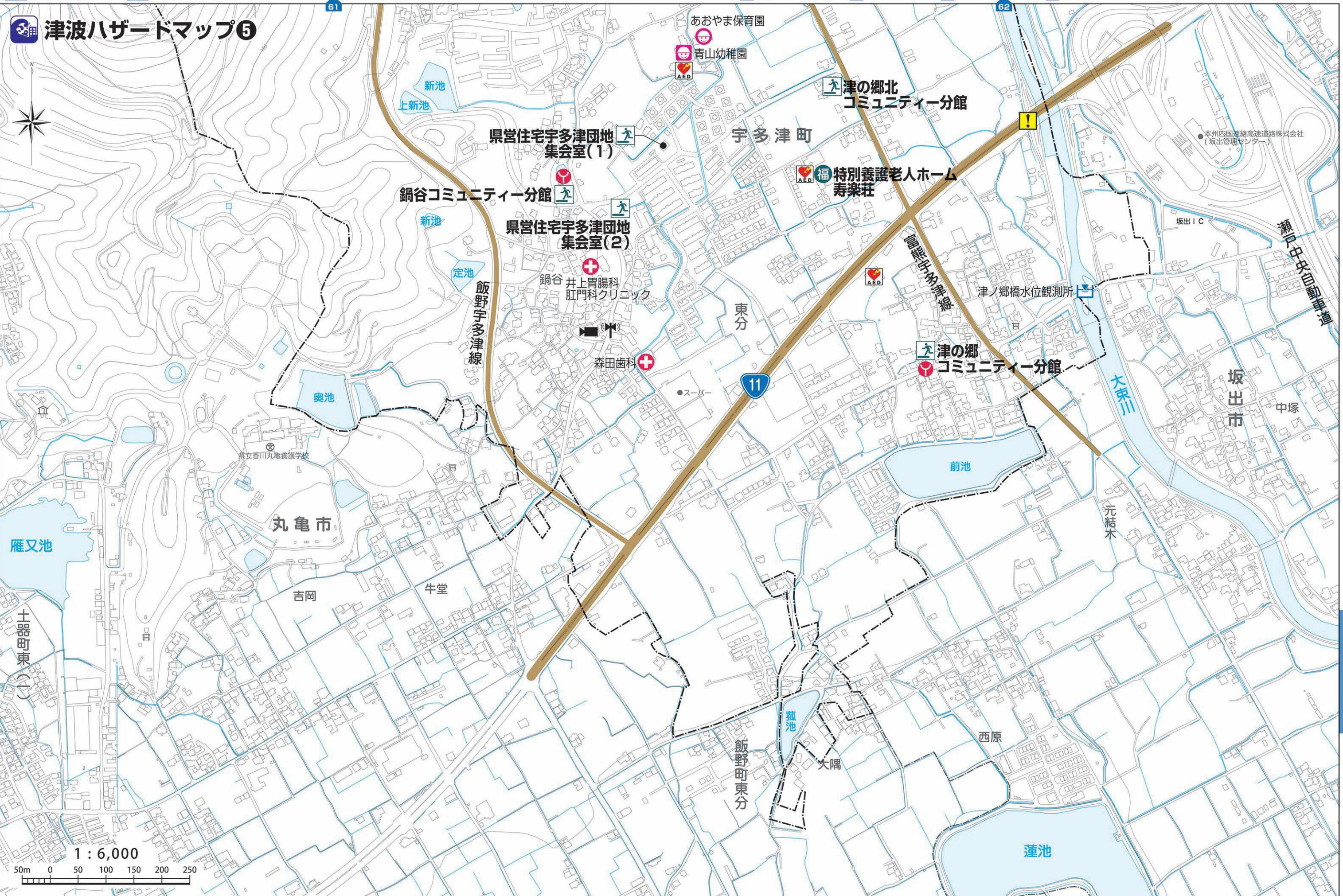
# 津波ハザードマップ③















# 避難施設・公共施設等

指定緊急避難場所（×は適さない施設、②は2階以上に避難することを前提とした施設）

名 称	所 在 地	電話番号	災 害 の 種 類							
			洪水			土砂災害	高潮	地震	津波	大規模な 火事
			土器川	大東川	綾川					
宇 多 津 小 学 校	宇多津町815	49-1820	②	②	②	○	②	○	○	○
宇 多 津 北 小 学 校	宇多津町浜八番丁115	49-2000	②	②	②	○	②	○	○	○
宇 多 津 中 学 校	宇多津町3302	49-0818	②	②	②	○	②	○	○	○
宇 多 津 幼 稚 園	宇多津町815	49-0198	×	×	×	○	×	○	○	○
中 央 保 育 所	宇多津町1941	49-0206	②	②	②	○	②	○	×	○
平 山 こ ど も 園	宇多津町2626-1	49-0851	×	×	×	○	×	○	×	○
香 川 短 期 大 学	宇多津町浜一番丁10	49-5500	②	○	○	○	②	○	○	○
四 国 医 療 専 門 学 校	宇多津町浜五番丁62-1	41-2323	②	○	○	○	②	○	○	○
町 民 体 育 館	宇多津町815-1		×	×	×	○	×	○	○	○
保 健 セ ン タ ー	宇多津町1881	49-8008	②	②	②	○	②	○	×	○
デュアル・スポーツセンター	宇多津町3390-1	49-8007	②	②	②	○	②	○	○	○
坂出宇多津広域行政センター	宇多津町2915	49-1100	○	○	○	×	○	○	○	○
浜八番丁コミュニティ分館	宇多津町浜八番丁122-6		×	×	×	○	×	○	○	×
北 浦 コ ミ ュ ニ テ ィ ー 分 館	宇多津町2628-67		×	○	○	○	×	×	×	×
大 橋 コ ミ ュ ニ テ ィ ー 分 館	宇多津町2628-591		×	○	○	○	×	○	○	×
大 橋 南 コ ミ ュ ニ テ ィ ー 分 館	宇多津町2628-170		×	×	○	○	×	○	○	×
坂下西コミュニティ分館	宇多津町2805-3		○	○	○	○	○	○	○	×
坂下東コミュニティ分館	宇多津町2914先		○	○	○	×	○	○	○	×
新 開 コ ミ ュ ニ テ ィ ー 分 館	宇多津町2561-1		×	×	×	○	×	○	×	×
中 央 コ ミ ュ ニ テ ィ ー 分 館	宇多津町2203-1		×	×	×	○	×	○	×	×
新 町 コ ミ ュ ニ テ ィ ー 分 館	宇多津町3644		×	×	×	○	×	×	×	×
山下・本町コミュニティ分館	宇多津町1402-18		○	○	○	×	○	○	○	×
大 門 コ ミ ュ ニ テ ィ ー 分 館	宇多津町1163		×	×	×	×	×	○	○	×
田 町 コ ミ ュ ニ テ ィ ー 分 館	宇多津町659-6		×	×	×	○	×	○	×	×
十 楽 寺 コ ミ ュ ニ テ ィ ー 分 館	宇多津町494		○	○	○	×	○	○	○	×
津 の 郷 コ ミ ュ ニ テ ィ ー 分 館	宇多津町大字東分1612-1		○	×	×	○	○	○	○	×
津 の 郷 北 コ ミ ュ ニ テ ィ ー 分 館	宇多津町181-3		×	×	×	○	×	○	○	×
鍋 谷 コ ミ ュ ニ テ ィ ー 分 館	宇多津町大字東分43		○	○	○	○	○	○	○	×
平 山 コ ミ ュ ニ テ ィ ー 分 館	宇多津町2495-1		×	×	×	×	×	○	×	×
県営住宅宇多津団地集会室(1)	宇多津町231		×	×	×	○	×	○	○	○
県営住宅宇多津団地集会室(2)	宇多津町231		×	×	×	○	×	○	○	○
サ ポ ー ト セ ン タ ー	宇多津町浜五番丁49-7	41-0516	×	○	○	○	×	○	○	×
キ ャ ッ プ ラ ザ ウ タ づ	宇多津町浜八番丁113-1	49-4005	×	○	○	○	×	○	○	×
や す ら ぎ プ ラ ザ	宇多津町1188	41-0665	×	×	×	×	×	○	○	×
ユ ー プ ラ ザ ウ タ づ	宇多津町浜六番丁88	49-8020	②	②	②	×	②	○	○	○
あみのうら交流センター	宇多津町1900	49-0287	②	②	②	○	×	○	×	○
平 山 公 園	宇多津町2521		×	×	×	○	×	○	×	○
中 央 公 園	宇多津町浜八番丁114		×	○	○	○	×	○	○	○
蛭 田 池 公 園	宇多津町2915-3		○	○	○	×	○	○	○	○
網 の 浦 万 葉 公 園	宇多津町1898-1		×	×	×	○	×	○	×	○
桜 の 広 場（浜二番丁公園）	宇多津町浜二番丁18-7		×	○	○	○	×	○	○	○
イ オ ン タ ウ ン 宇 多 津	宇多津町浜二番丁16		②	○	○	○	②	○	○	○
宇 夫 階 神 社	宇多津町1644	49-0805	○	○	○	○	○	×	○	×
本 妙 寺	宇多津町1563	49-0057	○	○	○	○	○	×	○	×
郷 照 寺	宇多津町1435	49-0710	○	○	○	○	○	×	○	×
浄 泉 寺	宇多津町1424	49-0182	○	○	○	○	○	×	○	×
聖 徳 院	宇多津町1423-1	49-0829	○	○	○	○	○	×	○	×
南 隆 寺	宇多津町1437	49-0686	○	○	○	○	○	×	○	×
聖 通 寺	宇多津町2805	49-0128	○	○	○	○	○	×	○	×

災害が発生し、又は発生するおそれがある場合にその危険から逃れるための避難場所として、洪水や津波など異常な現象の種類ごとに安全性の一定の基準を満たす施設又は場所を指定しています。

## 指定避難所

名 称	所 在 地	電話番号
宇 多 津 小 学 校	宇多津町815	49-1820
宇 多 津 北 小 学 校	宇多津町浜八番丁115	49-2000
宇 多 津 中 学 校	宇多津町3302	49-0818
保 健 セ ン タ ー	宇多津町1881	49-8008
町 民 体 育 館	宇多津町815-1	
デュアル・スポーツセンター	宇多津町3390-1	49-8007

災害により家に戻れなくなった被災者が一定期間生活する施設として指定しています。

## 福祉避難所

名 称	所 在 地	電話番号
特 別 養 護 老 人 ホ ー ム 寿 楽 荘	宇多津町170-1	49-3388
介 護 老 人 保 健 施 設 い き い き 荘	宇多津町浜五番丁53-1	49-7255
住宅型有料老人ホーム浜のかぜ	宇多津町浜五番丁66-3	49-2672
宇 多 津 町 保 健 セ ン タ ー（2階）	宇多津町1881	49-8008

避難行動要支援者など、一般の避難所では生活に支障があり、特別な配慮を必要とする人を受け入れる二次避難所として指定しています。

## 津波避難ビル

名 称	所 在 地	電話番号
ホ テ ル ア ネ シ ス 瀬 戸 大 橋	宇多津町浜六番丁81	49-2311
ホ テ ル A Z 香 川 宇 多 津 店	宇多津町2419-5	49-0501
J R 宇 多 津 駅（ホーム）	宇多津町浜五番丁49	49-0303

津波や高潮発生時に、安全な高台や高層階に避難する時間的余裕がない人が一時的に避難し、身の安全を確保するための施設として指定しています。

## 医療機関

名 称	所 在 地	電話番号
宇 多 津 病 院	宇多津町浜五番丁66-1	56-7777
く わ は ら 医 院	宇多津町浜八番丁112-2	49-3200
富 士 ク リ ニ ッ ク	宇多津町浜五番丁53-1	49-7576
松 山 医 院	宇多津町2034-1	49-0706
井上胃腸科肛門科クリニック	宇多津町大字東分49-7	49-1700
い け う ち 小 児 科 医 院	宇多津町浜六番丁92-7	49-2100
松浦こどもメンタルクリニック	宇多津町浜六番丁78-12	56-7358
や ま し ろ ク リ ニ ッ ク	宇多津町浜九番丁142-6	41-1028
はしもとレディースクリニック	宇多津町浜九番丁141-1	35-8600
千 羽 眼 科 医 院	宇多津町浜八番丁133-4	49-7890
尾 崎 歯 科 医 院	宇多津町954-3	49-3111
さ か い 歯 科 医 院	宇多津町浜九番丁142-8	41-0333
じ ょ う 歯 科 医 院	宇多津町1831	49-6480
竹 内 歯 科 医 院	宇多津町浜四番丁46-6	49-6666
森 田 歯 科 医 院	宇多津町大字東分230-3	49-6549
こうだおとなこども歯科	宇多津町浜六番丁82-3	41-1711
こうだらいおん歯科	宇多津町浜二番丁16イオンタウン宇多津2F	56-7766

## 要配慮者施設

名 称	所 在 地	電話番号	津波	洪水			高潮
				土器川	大東川	綾川	
宇 多 津 病 院	宇多津町浜五番丁66-1	56-7777		×			×
バイスデイサービスセンター歩・いっぽ	宇多津町浜五番丁66-3	49-2770		×			×
住宅型有料老人ホーム浜のかぜ	宇多津町浜五番丁66-3	49-2672		×			×
ライトハートいきいき荘	宇多津町浜五番丁53-1	49-7255		×			×
ケアハウスマイルドハート21	宇多津町浜五番丁53-9	49-9111		×			×
す ま い る ケ ア セ ン タ ー	宇多津町浜六番丁86-4	41-9671		×			×
児 童 デ イ サ ー ビ ス ま ん ま	宇多津町浜二番丁18-9	43-3630		×			×
ワ ー ク ネ ッ ト 宇 多 津	宇多津町浜三番丁28-1	85-3600		×			×
宇 多 津 北 小 学 校	宇多津町浜八番丁115	49-2000		×	×	×	×
わ か く さ 北 こ ど も 園	宇多津町浜八番丁111	59-9671		×		×	×
キ ャ ッ プ ラ ザ ウ タ づ	宇多津町浜八番丁113-1	49-4005		×		×	×
香 川 短 期 大 学 附 属 幼 稚 園	宇多津町浜八番丁113-2	41-0500		×		×	×
宇多津北放課後第2キッズクラブ	宇多津町浜八番丁132-2	49-1663		×	×	×	×
彩 り の 家	宇多津町浜九番丁142-4	49-9221		×		×	×
こ う だ ほ い く え ん	宇多津町浜六番丁82-3	49-1711		×			×
中 央 保 育 所	宇多津町1941	49-0206	×	×	×	×	×
陽だまりデイサービス事業所	宇多津町2223-2	56-7370	×	×	×	×	×
わ か く さ 保 育 園	宇多津町936-1	49-3011	×	×	×	×	×
宇 多 津 小 学 校	宇多津町815	49-1820		×	×	×	×
宇 多 津 幼 稚 園	宇多津町815	49-0198		×	×	×	×
青 山 幼 稚 園	宇多津町605	49-3704		×	×	×	×
あ お や ま 保 育 園	宇多津町604-2	41-1021		×	×	×	×
特別養護老人ホーム寿楽荘	宇多津町170-1	49-3388		×	×	×	×
発達支援ルームキャンパス	宇多津町大字東分1706-5	85-7017			×	×	×
エ コ ラ ン ド 鶴 足 津	宇多津町2628-718	41-0873		×			×
グ ル ー プ ホ ー ム 鶴 足 津	宇多津町2628-731	49-6588		×			×
ド リ ー ム パ ラ ダ イ ス	宇多津町2628-974	49-9889		×			×
い ち む じ ん	宇多津町2628-868	89-3535		×			×
め り い	宇多津町2628-146	89-3174		×	×		×
グ ル ー プ ホ ー ム 富 士	宇多津町2643-3	49-5382	×	×	×	×	×
平 山 こ ど も 園	宇多津町2626-1	49-0851	×	×	×	×	×
宇 多 津 中 学 校	宇多津町3302	49-0818		×	×	×	×
宇 多 津 町 保 健 セ ン タ ー	宇多津町1881	49-8008	×	×	×	×	×

災害種別ごとに、浸水範囲に入っている施設に×印を付しています。（ただし、病院、診療所等のうち、無床施設及び歯科医院は除いています。）

土砂災害警戒区域内には対象施設がありません。

## ◆ 特設公衆電話

特設公衆電話は、災害発生時等の緊急時に避難所等に設置され、被災者が無料で使用できる電話です。

災害時優先電話のため、比較的つながりやすく、停電時でも利用できます。（注）平常時は設置していません。

### 設置場所

保健センター、宇多津小学校（町民体育館）、宇多津北小学校、宇多津中学校、あみのうら交流センター、ユーブラザうたづ、サポートセンター、キッズプラザうたづ、やすらぎプラザ

## ◆ 公共施設

名 称	所 在 地	電話番号
宇 多 津 町 役 場	宇多津町1881	49-0511
保 健 セ ン タ ー	宇多津町1881	49-8008
ユ ー プ ラ ザ ウ タ づ	宇多津町浜六番丁88	49-8020
産 業 資 料 館「うたづ海ホテル」	宇多津町浜一番丁4	49-0860
キ ャ ッ プ ラ ザ ウ タ づ	宇多津町浜八番丁113-1	49-4005
デュアル・スポーツセンター	宇多津町3390-1	49-8007
サ ポ ー ト セ ン タ ー	宇多津町浜五番丁49-7	41-0516
や す ら ぎ プ ラ ザ	宇多津町1188	41-0665
宇多津町シルバー人材センター	宇多津町2344-1	49-2510
宇 多 津 町 社 会 福 祉 協 議 会	宇多津町1900	49-0287
少 年 育 成 セ ン タ ー	宇多津町浜八番丁113-1	49-3460
宇 多 津 商 工 会	宇多津町1900	49-1311
J R 宇 多 津 駅	宇多津町浜五番丁49	49-0303
宇 多 津 郵 便 局	宇多津町浜六番丁92-5	49-1011
網 の 浦 郵 便 局	宇多津町2034-5	49-6300
宇 多 津 交 番	宇多津町浜五番丁215-2	49-0858
宇 多 津 町 消 防 団 本 部	宇多津町1881	49-8027